



今週のPOINT

国内株式市場

もみあい継続、関心は個別物色とIPO

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

オリエンタルランド【東証1部 4661】ほか

テーマ別分析

増額修正相次ぐ電子出版関連

話題のレポート

イベント通過後は上方修正銘柄を牽引役とした上昇相場へ

スクリーニング分析

株価「大化け」候補銘柄

決算発表直後は投資リスクが後退する局面

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3	
			新興市場	4	
		米国株式市場		5	
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6	
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6	
2	マーケットを読む	今週のポイント		7	
		日経平均株価		8	
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	東亜建設工業〈1885〉東証1部	9	
			デジタルアーツ〈2326〉東証1部	10	
			エニグモ〈3665〉マザーズ	11	
			オリエンタルランド〈4661〉東証1部	12	
			オリコン〈4800〉JASDAQ	13	
			アマノ〈6436〉東証1部	14	
			スタンレー電気〈6923〉東証1部	15	
			三井不動産〈8801〉東証1部	16	
			読者の気になる銘柄	資生堂〈4911〉東証1部	17
				日本電信電話〈9432〉東証1部	17
			テクニカル妙味銘柄	ローソン〈2651〉東証1部	18
		名古屋鉄道〈9048〉東証1部	18		
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19	
		スクリーニング分析		20	
		先週の話題レポート		21	
		信用需給動向		22	
5	連載コラム			23	

もみあい継続、関心は個別物色と IPO

■日経平均 22000 円台を維持、米中間選挙で一進一退

先週の日経平均は小幅ながら上昇した。一進一退のもみあいのなか、2日の終値をわずかに上回り、週間ベースでは2週連続の上昇となった。週初5日の日経平均は、10月雇用統計を受けた長期金利の上昇やアップルの決算を嫌気した米NYダウの一段安を受けて、前週末比300円を超える急反落でスタートした。6日は米中間選挙を控えて模様眺めムードが強まる中、後場に入りトヨタ<7203>が上期決算と業績上方修正、自社株買いを発表して強含みに転じ、日経平均も反発した。7日は6日投開票の米中間選挙の結果速報が続々と伝わるなかで、日経平均は荒い値動きとなった。事前の予想どおり下院では野党・民主党が過半数の議席を奪還すると見通しが伝わると、日経平均は大引けにかけて失速し小反落となった。8日はNYダウの続伸と、米中間選挙が波乱なく事前予想の範囲内で通過したことを受けて安心感が台頭し、ソフトバンク<9984>など主力株が軒並み高と買い戻されて日経平均は一時、10月22日以来の22500円台を回復した。ただし、共和党による両院支配体制が維持できなかったことによるトランプ政権の政策推進能力への不透明感に加え、日経平均22500円近辺での戻り待ちの売り圧力の強さ、上海総合指数の5日続落もあって9日の日経平均は反落した。一方、NYダウは8日にかけて4日続伸となった。中間選挙を通過した7日は前日比545.29ドル高と急伸し、8日はFOMCにおいて政策金利が据え置かれたものの、利上げ方針の維持が示唆されたことから上げ幅は小幅にとどまった。9日はアジア・欧州株安の流れに加え、10月生産者物価指数が予想を上振れてインフレ圧力への警戒感が強まり、原油相場の下落なども嫌気されて5日ぶりに反落した。

■不透明感後退も上値重い

今週の日経平均は22000円前半でのみみあい継続が見込まれる。大方の予想通り、上院は共和党、下院は民主党が過半数を確保する形で米中間選挙を通過し、目先の不透明感は後退する形となった。ただ、米議会の「ねじれ現象」が改めて重しとして意識され始めている。その見方を織り込むには、まだ日柄を必要とするだろう。さらに、11月30日のG20首脳会議（ブエノスアイレス）に向けた米中貿易摩擦の動向も不安定材料だ。テクニカル的にも強気と弱気が交錯している。日経平均は、8日に25日移動平均線、200日移動平均線を回復したことで買いシグナルが一時点灯した。しかし、両線ともに右肩下がりの中でのブレイクで信憑性に欠け、9日は再び25日・200日線を割り込んで大引けとなり、不安定な動きとなった。本格反転相

場への移行は22600円近辺を走る75日移動平均線突破が焦点となる。また、上昇してくる5日移動平均線、そして25日線、200日線がサポートできるかもポイントとなる。累積価格帯由来高で日経平均22500円近辺は戻り売りが膨らむ水準であり、ここを突破するには物色意欲の高まりが必要となってくる。

■選別買いと超大型 IPO

市場ムード好転のきっかけとなりえるのが、決算発表一巡による好業績株の選別買いと大型 IPO だ。ソニー<6758>やトヨタ<7203>など決算を好感して買われた銘柄に買いが継続すれば、好業績銘柄の物色の裾野が広がってくる可能性が高まる。9日の海外市場で為替が一時1ドル114円台まで円安に振れたことも優良株にとっては追い風だ。加えて、東証が8日発表した、10月第5週（10月29日～11月2日）の主体別株式売買動向（2市場、金額ベース）で、海外投資家は小幅ながらも4週ぶりに買い越しに転じている。海外投資家の姿勢が小幅ながら買い転換となっただけでも需給的には大きなプラスだ。こうしたなか、一部経済紙で報じられたソフトバンク<9984>の通信子会社・ソフトバンクの新規上場が12日にも東証により承認されるというイベントに関心が向かうことになりそうだ。市場からの資金調達額は2兆5000億円規模と推定されており、今年最大の IPO 案件で、マーケットの需給に対する影響も大きい。一般的に IPO 人気は中小型株、新興市場銘柄の人気化に繋がりやすく、大引けにかけては失速したものの、9日にマザーズ指数が一時10月18日以来となる1000pt台に乗せ、9日かけて6日続伸となったことは、物色の変化として注目されよう。

■7-9月期 GDP、中国 10月鉱工業生産、米 10月鉱工業生産

今週の主な国内経済関連スケジュールは、12日に10月工作機械受注、14日に7-9月期 GDP、9月第三次産業活動指数、15日に10月首都圏新規マンション発売の発表が予定されている。一方、米国を含む海外経済関連スケジュールでは、13日に米10月財政収支、14日に中国10月鉱工業生産・10月小売売上高・10月都市部固定資産投資、米10月消費者物価、15日に米11月NY連銀製造業景気指数、米10月小売売上高、米11月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数、米10月輸出入物価、米9月企業在庫、16日に米10月鉱工業生産・設備稼働率がそれぞれ発表の見込み。このほか、国内外で予定されているイベント等としては、12日は米退役軍人の日（ベテランズデー）で外為、債券市場が休場、15日はAPEC閣僚会議（ポートモレスビー、首脳会議は17日から）となっている。

マザーズ指数は一時 1000pt 回復、12 月 IPO が続々発表

■決算発表は最終盤、MTGやPKSHAなど

今週の新興市場では、マザーズ指数が1000ptを挟み一進一退の展開となりそうだ。中小型株は10月下旬の急落で需給が軽くなった印象だが、ここまでのけん引役となったサンバイオ<4592>の上げ一服に加え、マザーズ指数が一時1000pt台を回復したことによる達成感から売りも出てくるだろう。また、市場全体としても米中間選挙を通過したことによるあく抜けが期待される一方、中国経済の減速や米金利上昇の影響に対する懸念が再び意識されつつある。

今週は、11月12日にビリングシステム<3623>、メドピア<6095>、ライフネット生命保険<7157>、13日にジーエヌアイグループ<2160>、オイシックス・ラ・大地<3182>、ラクス<3923>、ブロードバンドセキュリティ<4398>、MTG<7806>、14日に夢真HD<2362>、PKSHA Technology<3993>、エクストリーム<6033>、フェローテックHD<6890>、サイバーダイナミクス<7779>などが決算発表を予定している。決算発表が最終盤に入り、個別物色中心の展開を想定しておきたい。

■先週は5社上場発表、ソフトバンク12日承認か

IPO関連では、11月28日の霞ヶ関キャピタル<3498>上場を待つことになる。同社は15日までブックビルディング期間となっている。また、先週はアルー<7043>（12月11日、マザーズ）など5社の新規上場が発表されている。これから12月IPOが続々と発表されそう。注目されるソフトバンクグループ<9984>の通信子会社の上場は12日にも承認されるとの報道があった。

マザーズ指数



MTG<7806>



PKSHA Technology<3993>



中間選挙が終了し、投資家心理が改善

■先週の動き

週初はダウやS&P500が概ね堅調推移となる一方で、ハイテク株を中心に売りが広がったものの、米中間選挙やFOMCを見極めたいとの思惑から小動きとなった。米中間選挙は大方の予想通り、共和党が上院の過半数議席を維持する一方で、堅民主党が下院を支配する結果となった。先行き不透明感が払拭されたことが好感され大幅上昇となった。しかし、FOMCでは政策金利が据え置かれたものの、経済活動の拡大継続や堅調な労働市場がインフレに寄与するとして利上げ方針の維持を示唆した。中間選挙結果を受けた買いが一服すると、利上げ継続への警戒感や中国経済指標の鈍化懸念が強まったほか、一部企業の冴えない決算発表も嫌気され、週末にかけてハイテク株を中心に下落する展開となった。結局、週を通じて主要株価は上昇。

製薬のマイランは、大幅増益が好感されたほか、複数のアナリストによる投資判断引き上げを受け急騰。薬剤給付管理会社のCVSヘルスは、既存店売上高が予想を上振れ堅調推移。トランプ大統領から独占禁止法違反と批判を受けていたアマゾン、中間選挙結果により批判が和らぐとの見方から上昇。事務用品小売のオフィスデポは、決算内容が好感されたほか、通期見通しを引き上げ急騰。メディアのウォルト・ディズニーや旅行口コミサイトのトリップアドバイザーは、決算内容が予想を上振れ上昇。一方で、カジノ・ホテル運営のウィン・リゾーツは、CEOが10-12月期の業績悪化を示唆し下落。アパレルのマイケル・コース、住宅建設会社のDRホートンや半導体のクアルコム、ストリーミング端末のロク、決済サービスのスクエアなどは、決算内容が嫌気され下落した。

■今週の見通し

10月は米長期金利の上昇や米中貿易摩擦への警戒感から大幅な下落となったが、米中間選挙が市場の予想通りの結果で終了したことで、先行き不透明感が払拭され、投資家のリスク選好姿勢が改善していくだろう。10月雇用統計も堅調な内容となり、FOMCでも足元の景気に対する自信が示され、株式市場には好ましい状況だ。中間選挙で最も有権者の関心が高かったヘルスケアについては、民主党が下院を制したことか

らオバマケアの完全撤廃もなければ、国民皆保険の導入も今後2年間に実現する可能性はない。処方箋薬の薬価引き下げに向けた制度については、大統領と民主党が概ね一致した見方を示しており、何らかの成果が期待されるだろう。トランプ大統領は中間選挙後に司法長官を事実上更迭したほか、ウィルバー・ロス商務長官に年内の退任を迫っているとの報道もあり、下院民主党との折衝本格化を前に政権人事の刷新を急いでいるようだ。

今週は小売各社の8-10月期決算が多数予定されている。主な決算には、自動車部品小売のアドバンス・オート・パーツ(14日)、食肉メーカーのタイソンフーズ(13日)、ホームセンターのホームデポ(13日)、百貨店のメーシーズ(14日)、JCペニーやノードストローム(15日)、小売最大手のウォルマート(15日)などが予定されている。小売以外では、ネットワーク機器メーカーのシスコ・システムズ(14日)、半導体のエヌビディア(15日)、メディア大手のバイアコム(16日)の決算発表が予定されている。JCペニーは、小売業界で30年の経験を持つジル・ソルタウ氏がCEOに就任して初の決算発表となるが、新たな経営戦略の発表に注目が集まりそうだ。

全米小売業協会(NRF)は、今年の年末商戦(11-12月)での小売売上高について前年同期比4.3-4.8%増と予想している。昨年の5.3%増からは減速するものの、過去5年間の平均である3.9%増を超える成長となる。好景気や高い消費者信頼感に支えられ、今年の年末商戦も好調となりそうだ。また、携帯端末から小売店独自のアプリを通じて商品検索やクーポンを使用し、購買活動を行う顧客が増えているとの調査結果があり、オンライン販売の更なる拡大が予想される。

経済指標では、10月消費者物価指数(14日)、11月NY連銀製造業景気指数(15日)、10月小売売上高(15日)、10月輸入物価指数(15日)、10月鉱工業生産・設備稼働率(16日)などの発表が予定されている。小売売上高は、前月にハリケーンの影響で消費者の外食や買い物が減少したものの、回復が予想される。10月新車販売台数も予想を上回ったことから堅調な内容となるだろう。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

112.00 円 ~ 115.00 円

今週のドル・円は下げ渋りか。9日発表の10月米生産者物価指数は市場予想を上回っており、14日に発表される10月米消費者物価指数(CPI)は2%台前半の上昇率を維持する可能性が高い。インフレ鈍化の思惑は後退しており、利上げ継続を期待したドル買いが入りやすい状況となりそうだ。ただ、1ドル=114円台は上値抵抗の水準とみられており、相応のドル買い材料が提供されない場合、ドル・円が114円をしっかりと超えて一段高となることは難しいとみられる。

FRBは7-8日に開催した連邦公開市場委員会(FOMC)で、市場の予想通り政策金利の据え置きを決めた。発表された声明は、引き続き利上げ継続に前向きな姿勢を示している。このため、目先発表される経済指標がFRBの想定通りの内容だった場合、12月18-19日に開かれる次回会合での追加利上げを期待したドル買いを誘発しそうだ。

14日発表の10月消費者物価指数(CPI)や15日発表の10月小売売上高と11月フィラデルフィア連銀景況調査(製造業景況指数)などが有力な手掛かり材料として注目される。10月のCPIは2%台の上昇率を保つと予想されているが、10月実績が市場予想を上回った場合は、金利先高観が浮上し、ドル買いが入る見通し。た

だ、ドルは114円台の水準で何度も上昇を阻止されており、市場では上値抵抗水準として意識されている。米株式市場は落ち着きを取り戻しつつあるが、9日の取引では世界経済の減速懸念などの要因でさえない相場展開となった。週明け12日のアジア、欧米の株式市場が総じて弱含みとなる可能性は排除できないため、株式市場の動向には引き続き警戒が必要となりそうだ。

【米・10月消費者物価指数(CPI)】(14日発表予定)

14日発表の10月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.5%と、前月の+2.3%を上回る見通し。コア指数は前年比+2.2%と予想される。インフレ率は2%台で推移しており、ただちに鈍化する可能性は低いと予想されていることから、連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ継続方針を支援する材料となりそうだ。

【米・11月フィラデルフィア連銀景況調査】

(15日発表予定)

15日発表の米11月フィラデルフィア連銀製造業景況調査(景気動向指数)は20.0と、10月の22.2からはやや鈍化する見通し。ただ、高水準での推移が続いており、景気拡大基調の継続が確認されれば、株高を通じてドル買いに振れそうだ。

債券市場

債券先物予想レンジ

150.35 円 ~ 150.75 円

長期国債利回り予想レンジ

0.115 % ~ 0.135 %

■先週の動き

先週の債券相場は伸び悩み。米中間選挙を通過し、米国株式は底堅い動きを見せたことから、安全逃散的な債券買いはやや縮小した。国内債券市場では、10年国債利回りは週間ベースでわずかに低下したが、超長期債の需要はやや減少し、債券先物相場の反発を抑える要因となった。米中間選挙後、為替相場は円安方向に振れており、日銀による金利調整への思惑が広がったことが要因。超長期ゾーンでの債券買い入れ額を減らす可能性は残されており、イールドカーブのスティープニング(5年債や10年債との利回り格差の拡大)に対する警戒感も浮上した。

■今週の見通し

今週の債券市場では、利回り曲線(イールドカーブ)のスティープニングを想定した取引がやや活発となりそうだ。13日に行われる30年国債入札の結果を慎重に見極める展開となりそうだ。米

利上げ継続を想定して為替相場は円安方向に振れており、この影響で超長期債などの利回り水準は下げ渋っている。13日に行われる30年国債入札に備えて一部業者がポジション調整を進める可能性があることから、10年債の利回り水準も若干上昇する可能性がある。

30年国債入札が低調な結果となった場合、イールドカーブのスティープニングを警戒して10年債などの売りが増える可能性がある。ドル・円相場に大きな動きがない場合でも米国株式が底堅い動きを見せた場合、長期債などの利回り水準の上昇につながるの見方が多い。

債券先物は150円70銭台で上げ渋り、30年国債入札が低調な結果となった場合は150円台前半まで下落する可能性がありそうだ。30年国債入札が無事終了しても、国内外の株式市場が堅調合いとなった場合、債券先物は150円70銭近辺で伸び悩み展開が予想される。

米消費者物価指数や半導体関連の決算が注目点

先週の日経平均はもみ合いとなった。雇用統計を受けた米国株安を背景に、週初は売り先行のスタートとなった。その後は、主要企業の好決算や米中貿易協議の進展期待で値を戻し、注目された米中間選挙では民主党の下院過半数獲得による議会の「ねじれ」が現実化することになったが、想定通りと受け止められあく抜け感も強まった。ただ、週末には米利上げ加速化懸念の再燃で伸び悩んだ。

決算発表が本格化する中、物色材料はその決算に集中した。決算が好感されたのは、アカツキ、サッポロ、ワコム、カチタス、SUMCO、明治 HD、ミネベアミツミ、バンナム HD、NISSHA、丸井 G、西武 HD など。日本ライフライン、ヒロセ電、横河電などにはあく抜け感が強まった。シグマクス、ゴールドW、システムソフト、JUKIなどの中小型株も買われた。トヨタやNTTなどは株主還元策も買い手掛かりに。ほか、DeNA はテンセントとの提携が材料視され、大日住友薬は格上げが好感される。一方、SUBARU、NTT データ、アシックス、丸紅、ケースデンキ、ダイキン、オリンパス、カシオ、シスメックス、サンデン、資生堂、ネクソン、ニコン、住友鉱山は決算内容が嫌気される。昭和電工には目先の出尽くし感が先行した。中小型ではりらいあや東亜建設なども売られた。ファストリは10月の既存店マイナス転換が売り材料視され、日立化成は検査不正対象製品の広がりによる影響が懸念された。

先週末の米国市場は長期金利の上昇懸念から軟調な動き、今週の東京市場も米長期金利の行方を睨みながらの相場展開となっていこう。一方、米中貿易協議に関しては、月末の G20 に向けて進展への期待が高まっていくものとみられ、英国のハードブレグジット懸念も、来月の EU 首脳会議に向けて解消していく可能性が高いと考えられる。最大の焦点であった米中間選挙を通過して、徐々に市場には安定感が強まると考えたい。今回の決算発表は、その後の株価ボラティリティが非常に大きくなっている。過度に出尽くし感で売り込まれたような銘柄の反発力などに目は注目したい。

今週前半も引き続き決算発表が行われ、12 日には大林組、ソニーFH、13日には鹿島、リクルート、三菱UFJ、14日には電通、出光興産、日本郵政、かんぽ、ゆうちょ銀、三井住友、みずほFG、第一生命などが予定されている。とりわけ、銀行や生命保険各社には、足元の米長期金利上昇によるプラスの影響を確認したい。国内では14日に7-9月期 GDP が発表され、マイナス転換の可能性が高いが、自然災害の影響が主因で大きな警戒感にはつながらないだろう。15日には米国でアプライドやエヌビディアが決算を発表、国内半導体関連の方向性を左右するものとなる。ほか、14日は米消費者物価指数の発表があり、波乱要因となる余地もあろう。中国景気の下支えとして期待される10月の都市部固定資産投資も注目される経済指標だろう。

先週動いた銘柄・セクター（東証1部・個別銘柄は他市場が優先市場のものを除く）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	上位セクター	騰落率 (%)
3366	一六堂	512.0	38.75	6444	サンデンホールディングス	971.0	-22.32	空運業	4.93
2372	アイロムグループ	2,302.0	32.53	7744	ノーリツ鋼機	2,000.0	-21.32	繊維業	4.24
6985	ユーシン	976.0	27.75	4975	JCU	2,105.0	-19.35	電力・ガス業	4.05
3932	アカツキ	5,590.0	25.48	3457	ハウズドゥ	1,320.0	-18.57	陸運業	3.44
4331	テイクアンドギヴ・ニーズ	2,170.0	24.43	4008	住友精化	4,855.0	-17.85	水産・農林業	3.32
6194	アトラエ	2,529.0	23.97	3431	宮地エンジニアリンググループ	2,269.0	-17.22	医薬品	3.22
8919	カチタス	3,330.0	23.38	4514	あすか製薬	1,231.0	-17.10	パルプ・紙	3.20
6544	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	2,047.0	22.21	5821	平河ヒューテック	1,380.0	-17.02	下位セクター	騰落率 (%)
8111	ゴールドウイン	10,780.0	21.95	4092	日本化学工業	2,683.0	-16.55	石油・石炭製品	-3.67
7527	システムソフト	117.0	21.88	6428	オーイズミ	477.0	-16.32	機械	-1.92
3569	セーレン	1,980.0	21.47	2389	オプトホールディング	2,049.0	-16.23	非鉄金属	-1.79
4506	大日本住友製薬	2,977.0	20.72	4619	日本特殊塗料	1,897.0	-15.76	化学工業	-1.17
6513	オリジン電気	2,005.0	20.71	4708	りらいあコミュニケーションズ	1,031.0	-15.70	ゴム製品	-1.12
6590	芝浦メカトロニクス	4,255.0	19.52	6413	理想科学工業	2,056.0	-15.04	電気機器	-1.05
9880	イノテック	1,502.0	19.40	7874	レック	1,904.0	-15.04	精密機器	-0.94

急反転後の反動安の可能性

■形勢は売り手優位が続く

先週の日経平均は2週連続で上昇したが、1週間の上げ幅は6.59円と前週の1059.06円から急速に縮小した。

東証と大阪取引所が集計した投資部門別売買状況では、海外投資家は10月第5週（10月29日-11月2日）、現物・先物合計で4週連続の売り越し。金額は5766億円と前週（1兆1824億円）より縮小した。現物は262億円と小幅ながら4週ぶりに買い越しに転じた。

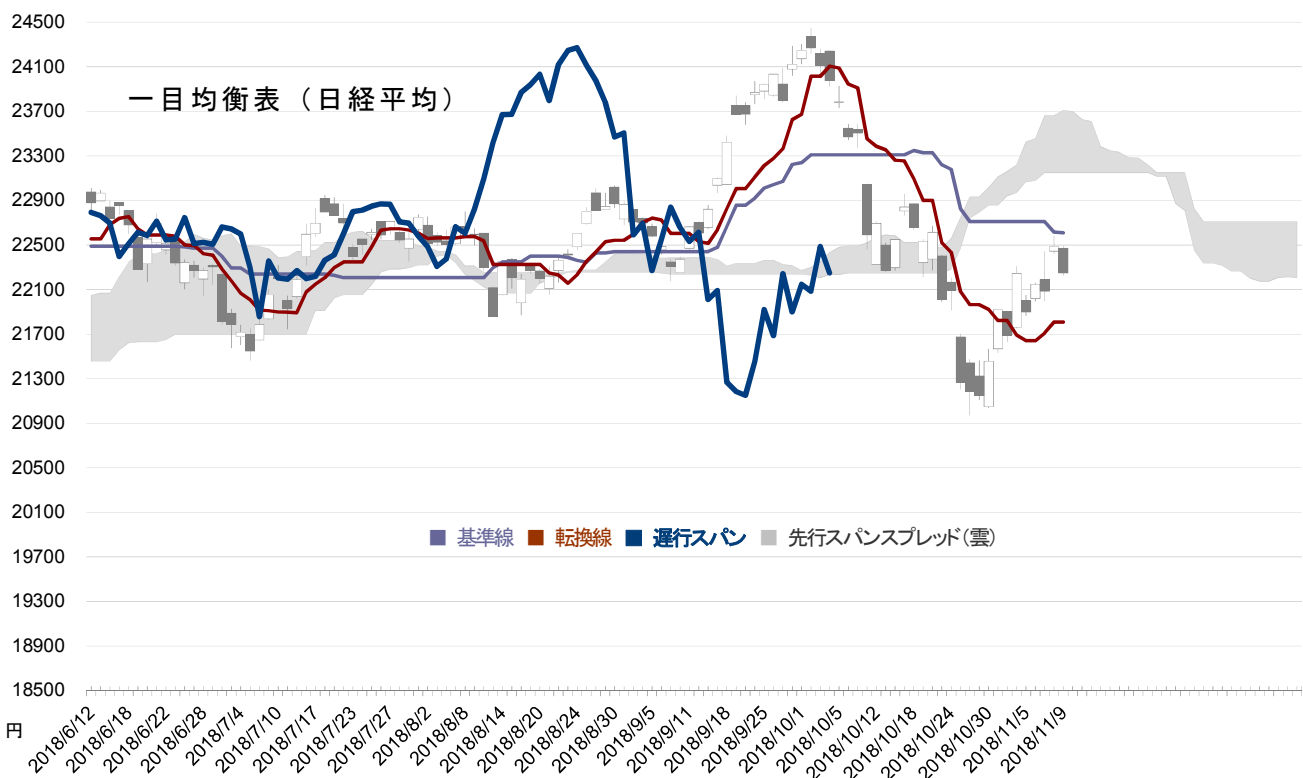
先週の日経平均は下落と上昇を交互に繰り返す「鯨幕相場」となった。8日は節目の22500円を一時上回り、終値が25日線と200日線を上回った。一方で、同日には2日に75日線を割り込んだ25日線が200日線も下回るデッドクロスを示現したほか、25日、75日、200日の各線が下降しているため、中長期的な下落基調入りが警戒される。

今週は10月安値からの急反転後の反動で売りが出やすい地合いが予想される。月初の上昇局面で22000円をあっさり突破したことから下落局面で同水準でのサポート力には期待しにくい

だろう。10月26日安値から今月8日高値までの上昇幅1611.50円の半値押しに相当する21777.68円付近が下値メドとして意識される可能性がある。ただ、3分の2押し（21509.10円）まで下落すれば、再び下値模索の流れになりやすい点には留意しておきたいところだ。

一目均衡表では、株価は雲下での推移が続いた。9日は基準線がやや下向きのほか、遅行線は株価を大幅に下回って明確な弱気シグナル発生を続けており、相場全体の形勢は売り手優位が続いている。

ボリンジャーバンドでは、8日に終値ベースで中心線を上回り、10月26日の-2σ割れからの反転トレンドに沿った動きを見せた。ただ、9日は+1σを試す動きもなく推移したことから上値の重さが意識されており、今週中に終値ベースで+1σを回復できなければ、反転トレンドが終了して日々線は再び中心線割れに向かいやすくなるだろう。



東亜建設工業〈1885〉東証1部

上半期下方修正で当面の悪材料出尽くし感も

■受注順調で通期では巻き返し可能

5日に発表した想定外の業績下方修正を受けて、6日は急落となったが、その後はやや下げ渋る動きとなっている。引き続きリバウンドの持続を想定したいところだ。上半期営業利益は従来予想の15億円から9.5億円に下方修正、海外の一部工事の着工が遅れたことが主因となっている。第1四半期の高進捗から業績上振れ期待も高まっていただけに、想定外の下方修正はネガティブサプライズと捉えられた。ただ、通期予想の37億円、前期比28.5%増は据え置いているように、下方修正の要因となった着工遅れは下半期にカバーできる公算が大きいだろう。受注高は順調に推移とされているように、前期比16%増と計画している通期受注高予想は達成の方向と考えられる。第1四半期受注高が倍増となっているように、受注残高は足元高水準のため、業績が減速トレンド入りする状況ではないとみられる。通期業績達成確度が高まれば、0.5倍のPBR水準是正の動きは活発化しよう。

売買単位	100 株
11/9 終値	1756 円
目標株価	2000 円
業種	建設

■当面の売り圧力は後退

昨年以降の安値水準を更新したことで一時下げが加速したが、これで当面の売り圧力は後退したとみられる。短期的に心理的な節目となる2000円までの戻りを予想。

★リスク要因

業界全般に労務コストの上昇懸念。

1885: 日足

底打ち感が強まる中、75日線などとの大きな乖離を埋める動きに。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	198,884	3.3%	5,696	5,308	193.3%	2,080	9.95
2016/3連	200,282	0.7%	11,789	10,606	99.8%	6,038	28.89
2017/3連	167,200	-16.5%	6,196	5,897	-44.4%	-7,438	-
2018/3連	161,045	-3.7%	2,879	2,714	-54.0%	1,750	83.74
2019/3連予	170,000	5.6%	3,700	3,400	25.3%	2,000	95.69

デジタルアーツ〈2326〉東証1部 情報セキュリティソフトに注目

■上期業績は増収増益

2019年3月期の上期売上高は前年同期比12.0%増の27億円、営業利益は同12.4%増の10億円で増収増益となった。自治体向けに総合的なセキュリティ提案ができる販路拡大が進んだことから、有害情報閲覧制限ソフトや情報漏えいを防止するメールセキュリティソフトの新製品の販売が増加した。同社の新しい情報セキュリティ製品は、情報漏えい防止を目的とするものに加え、コンピューターウイルス対策もできるようになった。企業のセキュリティ意識の高まりから、販売増につながるとみられる。

■置き換え需要により成長余地は大きい

メールセキュリティソフトでも、安全なサイトのデータベースであるホワイトリストを活用してユーザーが危険なメールの受信をブロックする。従来のウイルス対策ソフトから、同社製ソフトにシフトするなど置き換え需要が出てくると想定され、成長余地は大き

売買単位	100 株
11/9 終値	6040 円
目標株価	6540 円
業種	情報通信

いだろう。情報セキュリティ製品の販売増から業績拡大が見込まれる。株価は決算発表後、騰勢を強めており、目先は一服する場面もあるが、成長期待から上昇基調が続きそうだ。7月高値(6540円)の奪回も視野に入る。

★リスク要因

セキュリティ製品の販売減少など。

2326:日足

5日線を下値支持線に上値トライへ。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	3,402	12.4%	865	910	38.1%	531	38.27
2016/3連	4,000	17.6%	1,006	994	9.2%	545	39.26
2017/3連	5,058	26.5%	1,824	1,811	82.2%	1,125	80.92
2018/3連	5,116	1.1%	1,902	1,909	5.4%	1,281	92.46
2019/3連予	5,800	13.4%	2,600	2,600	36.2%	2,000	143.91

エニグモ〈3665〉マザーズ

「BUYMA」の成長が継続

■トラベル分野にも進出

ファッション中心のソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA(バイマ)」の運営を中心に事業展開している。7月31日からは世界145カ国、11万人超の出品者からの現地情報を活かした「バイマトラベル」のサービス提供を開始した。9月中旬に発表した2019年1月期の上期営業利益は前年同期比37%増(前期連結との比較)で、通期予想に対する進捗率は54%。会員数は550万人超、アクティブ会員数は102万人超と好調を継続している。第3四半期決算発表は12月14日の予定。筆頭株主であるソニー〈6758〉の人気も株価の追い風となる。

■需給好転で昨年高値目指す

株価は17年12月安値965円から右肩上がりのトレンドを継続している。日足ベースでは、9月安値1415円から上昇第3波入りで、10月末からは上昇する5日線を下値サポートとする。週足ベ

売買単位	100 株
11/9 終値	2149 円
目標株価	2360 円
業種	情報通信

ースでは9月中旬から13週線が下値支持線となり、26週線とともに上昇を継続している。信用買い残の整理が進み、需給も好転。こうしたなか、昨年5月に付けた高値2360円を目指す展開が意識されてくるだろう。

★リスク要因

消費低迷による会員数の頭打ち。

3665:日足

順調に下値を切り上げる展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/1単	2,285	25.3%	1,196	1,200	40.4%	708	33.64
2016/1連	2,858	-	219	216	-	-180	-
2017/1連	4,147	45.1%	1,768	1,763	716.2%	1,143	54.92
2018/1連	4,492	8.3%	1,574	1,556	-11.7%	816	39.23
2019/1単予	4,784	-	1,745	1,745	-	1,205	57.92

オリエンタルランド〈4661〉 東証1部

35周年記念イベントの集客効果などで好業績続く

■上期決算は当初計画を上回る好調ぶり

2019年3月期の上期売上高は前年同期比7.8%増の2506億円、営業利益は同10.2%増の618億円となり、当初計画されていた水準(売上高2415億円、営業利益540億円)を上回った。「東京ディズニーリゾート」35周年イベントや新規のアトラクションの投入による集客効果により、入園者数は上期としては過去最高となる1552万人へと増加した。また、イベント関連商品の販売増加も収益向上に寄与した。下期も「ディズニー・クリスマス」や35周年の「グランドフィナーレ」などのイベント効果が入園者数を押し上げる可能性が高いだろう。

■電子マネー決済もプラスに

11月から開始予定のスマートフォン向け公式アプリでの電子マネー決済は、利便性向上に伴い収益の上乗せ効果も期待される。東京五輪・パラリンピック開催に伴う訪日外国人客の増加、テ

売買単位	100 株
11/9 終値	10935 円
目標株価	12000 円
業種	サービス

ーマパークの拡張計画などから、中期的な成長余地は大きく、好業績の継続が見込めるだろう。株価は好業績を織り込む形で上昇基調に入り、8月高値(12470円)奪回も視野に入るだろう。当面は節目の12000円を目標株価に設定したい。

★リスク要因

入園者数の減少など。

4661:日足

5日線を支持線に200日線、75日線突破を意識。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	466,291	-1.5%	110,605	110,486	-1.9%	72,063	862.88
2016/3連	465,353	-0.2%	107,357	109,214	-1.2%	73,928	221.26
2017/3連	477,748	2.7%	113,152	114,611	4.9%	82,374	248.39
2018/3連	479,280	0.3%	110,285	111,660	-2.6%	81,191	246.70
2019/3連予	500,860	4.5%	113,470	114,810	2.8%	80,030	243.46

オリコン 〈4800〉 JASDAQ

増額修正きっかけに一本立ち

■調査事業が好調

11月5日に発表した2019年3月期の上期営業利益は前年同期比44.8%増の3.75億円で、第1四半期(同30.8%増)を上回る伸び率だった。通期の営業利益予想6.80億円に対する進捗率も約55%で、増額期待が先行している。主力のコミュニケーション事業が好調で、特に顧客満足度(CS)調査事業が業績拡大をけん引している。来年10月には消費増税が実施されることから、各企業・業界で満足度調査が活発化すると期待が大きく、事業環境は明るさを増している。

■波動一変、500円台を意識

株価は上期決算発表を受けて窓を開けて急騰し、11月第2週に大陽線を形成し、8月に付けていた年初来高値(416円)を更新してきた。急騰の反動も予想されるが、13週、26週の移動平均線はともに上昇局面入りとなっている。10月から下値支持線とし

売買単位	100 株
11/9 終値	473 円
目標株価	520 円
業種	情報通信

て働く26週線から、その上を走る13週線に水準を切り上げてくるかがポイントになるだろう。目標株価は9日終値から10%ほど高い520円とする。

★リスク要因

スマートフォン向け配信事業の収益伸び悩み。

4800:日足

前週に窓を開けて上昇し、年初来高値を更新。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	4,510	-10.4%	495	440	-30.4%	231	15.78
2016/3連	4,301	-4.6%	388	347	-21.1%	331	22.62
2017/3連	3,781	-12.1%	616	578	66.6%	337	23.69
2018/3連	3,739	-1.1%	629	609	5.4%	386	27.67
2019/3連予	3,840	2.7%	680	650	6.7%	420	30.21

アマノ〈6436〉東証1部

足元の収益好転や自社株買いを評価

■7-9月期は収益が好転

10月29日に上半期の決算を発表、営業利益は55億円で前年同期比2.2%減益となり、従来予想の59億円をやや下振れる着地となった。ただ、第1四半期は同22.1%の大幅減益であったため、むしろ7-9月期の収益好転がポジティブに評価できよう。時間情報システム、環境関連システムともに7-9月期は前四半期比で大きく修正水準が拡大している。加えて、発行済み株式数の1.31%に当たる100万株を上限とする自社株買い実施も発表。現在の株価は依然として安値圏にあり、積極的な取得実施も期待できるとみられるなど、需給妙味も強い状態といえよう。

■需給妙味大きくもみ合い上げれの公算

決算発表を受けて急伸後はもみ合いとなっている。信用倍率0.5倍台、貸借倍率0.4倍台という売り長の需給状態にあることで、目先は上げれの可能性が高いとみられる。9月高値2462円

売買単位	100 株
11/9 終値	2345 円
目標株価	2625 円
業種	機械

を突破すれば、7月に空けたマド埋めを意識する展開になろう。急落前7月27日の安値水準である2625円を目標株価とする。なお、働き方改革などのテーマ性の高さなども妙味になる。

★リスク要因

バリュエーション面での割安感に乏しい。

6436: 日足

急反発後も底堅い動きが続く。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	109,837	7.5%	9,357	10,189	8.1%	6,794	88.71
2016/3連	119,506	8.8%	12,942	13,665	34.1%	8,405	109.75
2017/3連	120,124	0.5%	13,165	13,806	1.0%	9,223	120.79
2018/3連	124,405	3.6%	14,350	15,060	9.1%	10,019	132.12
2019/3連予	130,000	4.5%	15,000	15,700	4.2%	9,800	131.13

スタンレー電気〈6923〉東証1部

生産の合理化を推進、成長分野の開発も進む

■生産の無駄削減を徹底、コア技術を活かした開発進展

LEDヘッドランプ等の自動車機器の製造・販売が主力。LEDや光センサー、LED照明、バックライト等も手掛ける。2019年3月期上期は増収、2ケタ増益。通期でも増益を予想する。主力の自動車機器は中国がけん引。二輪車向けはインドを中心に堅調推移が続く見込み。コンポーネントは車載向け等が伸長。電子応用製品はノートPC用バックライトが好調に推移する見込み。同社は生産革新による合理化を推進している。部材のコストダウンや内製取込、不良低減、生産性の向上により通期で約134億円、営業利益を押し上げる。生体認証向けのハイパワー赤外LEDや、路面描画ライティング用のセンサーを開発。成長が見込まれるセキュリティや車載関連の開発も進んでいる。

■10月安値で底打ち

株価は春からのボックス圏を下放れし、10月は売りが続いている

6923:日足

年初来高値と10月安値の半値戻しを目指す。



売買単位	100 株
11/9 終値	3435 円
目標株価	4000 円
業種	電気機器

だが、直近は出来高を伴って反転。足元の業績の伸長により底打ちが期待される。年5円の増配も株価を後押し。目標株価は年初来高値と10月安値の半値戻し水準となる4000円とする。

★リスク要因

自動車生産の鈍化や円高。

(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	359,840	9.3%	38,054	40,610	1.3%	25,198	149.83
2016/3連	404,148	12.3%	36,774	39,402	-3.0%	25,537	152.88
2017/3連	388,560	-3.9%	42,305	45,720	16.0%	28,685	172.66
2018/3連	442,165	13.8%	53,169	57,657	26.1%	36,008	218.21
2019/3連予	440,000	-0.5%	55,000	60,000	4.1%	39,500	241.09

三井不動産〈8801〉東証1部

国内街づくりと海外展開で収益拡大へ

■国内外とも収益拡大への開発案件豊富

不動産の賃貸や国内外の住宅分譲、プロパティマネジメントを手掛ける大手総合不動産。オフィスビルや商業施設の賃貸、マンション分譲、不動産仲介、ホテル開発等を手掛ける。2019年3月期上期は2ケタ増収増益と回復。通期の経常利益、純利益予想を上方修正した。海外事業の持分法投資損益改善等を見込む。同社は「東京ミッドタウン」等を手掛け、大きな収益源としている。今後も日本橋や田町、豊洲、八重洲等の案件を計画。海外では米ニューヨークの「55 ハドソンヤード」に続き、テキサス、イギリス等で住宅や商業施設等の案件を計画。中期経営計画では営業利益の約30%まで海外事業を引き上げる。国内の街づくりや海外展開に注力しながら収益源の拡大を図っている。

■三角持ち合いを上放れへ

株価は直近、三角持ち合いを形成していた。しかし、足元の業

売買単位	100 株
11/9 終値	2659.5 円
目標株価	3000 円
業種	不動産

績回復や将来の成長期待を背景に上放れしつつある。節目の3000円台回復を目標としたい。

★リスク要因

有利子負債が多いため金利上昇。

8801:日足

2500円レベルでのみみ合いから上放れを試す。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2015/3連	1,529,036	0.9%	186,074	163,373	13.0%	100,185	103.89
2016/3連	1,567,969	2.5%	202,482	182,521	11.7%	117,722	119.14
2017/3連	1,704,416	8.7%	232,698	219,607	20.3%	131,815	133.40
2018/3連	1,751,114	2.7%	245,902	240,341	9.4%	155,874	157.75
2019/3連予	1,870,000	6.8%	250,000	236,000	-1.8%	163,000	165.95

資生堂 東証1部<4911>/品切れの影響は解消で押し目買いの好機にも

週末は大幅反落となった。10日に第3四半期決算を発表、7-9月期営業利益は303億円で前年同期比15.8%減となった。市場予想を100億円程度下回る水準となり、ネガティブな見方が強まったようだ。品切れが発生したことによる日本事業の売り上げ伸び悩みが想定比下振れの要因になったもよう。品切れによるマイナス影響は足元で沈静化しているものの、インバウンド向け売上高も前年同期比6%増程度にとどまり、中国EC法の施行による影響も懸念される状況に。

ただ、説明会においては、10月の出荷売上は20%増になるなど品切れの影響は解消されつつあること、懸念視されている中国人需要に関しても、化粧品市場は冷えておらず、末端需要は鈍っていないことなどが明らかにされている。今後もインバウンドの動向に左右される面はあろうが、短期的には押し目買いの好機と捉えられる。



日本電信電話 東証1部<9432>/今後はドコモからの資金シフトなども想定される

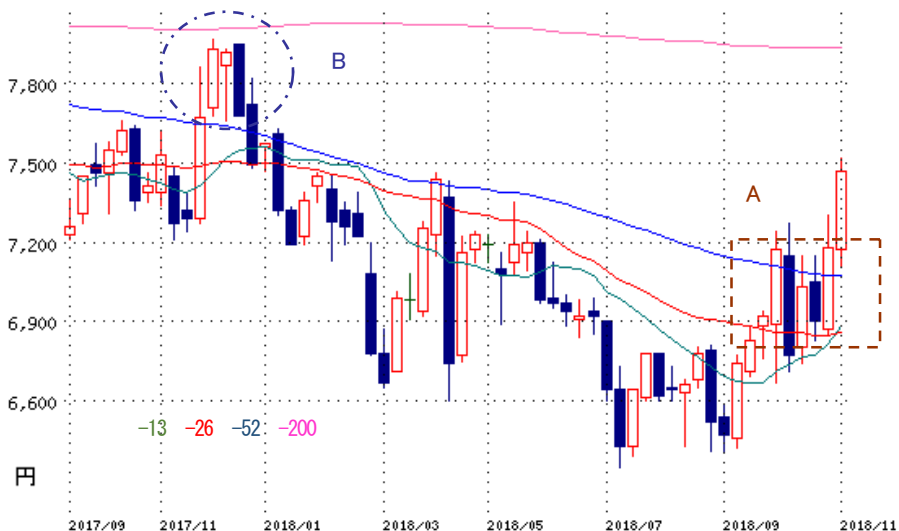
7日には大幅続伸となった。6日に第2四半期の決算を発表、7-9月期営業利益は5335億円で前年同期比4%増益となり、減益予想の市場コンセンサスを上回った。また、中期経営戦略を発表、24.3期のEPSは約640円を目標とし、前期実績の425円からは5割の増加としているほか、今後の継続的な増配や高水準の自社株買いを実施することも示唆している。来年3月末までの1500億円の自社株買いや発表したが、ドコモ株売却を原資に20.3期の高水準の自社株買いや視野に入る形になっている。

料金引き下げの影響によって、ドコモの携帯事業は当面停滞が見込まれるものの、自社株買いなどによって、それを補うEPS成長期待が高まり、見直しの余地は大きいだろう。目先、ドコモから同社への資金シフトの動きなども想定され、反発基調の継続を見込みたい。



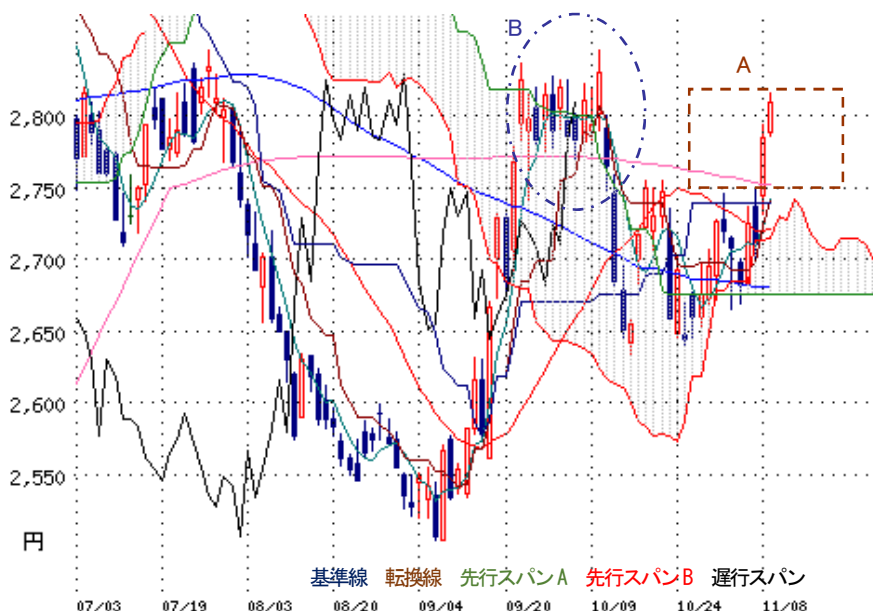
ローソン 東証1部(2651)

週足ベースのローソク足。先週は 52 週線を下回ることなく推移し、買い手優勢の展開。年初から下降を続けてきた 26 週線が上向きに転換した (点線・四角A) ほか、上昇中の 13 週線を超えるゴールデンクロスを示現し、中長期の上昇トレンド入りが予想される。9 日ザラ場には 4 月 6 日に付けた戻り高値を 60 円上回る 7520 円まで上昇しており、今後は昨年 12 月高値 7970 円 (点線・丸B) を意識する展開となろう。



名古屋鉄道 東証1部(9048)

日足ベースの一目均衡表。先週末 9 日の株価は雲上限との上方乖離幅を拡大して終了 (点線・四角A)。上向きの転換線が基準線を超えたほか、遅行線は株価を上回って強気シグナル発生 (点線・丸B) を開始して三役好転が完成し、買い手優位の形勢が一段と強まった。7 月 27 日の 2846 円と 10 月 10 日の 2845 円でダブルトップを形成しており、2845 円処を抜けば上昇が加速し、6 月高値 3060 円が視野に入りそうだ。



テーマ別分析: 増額修正相次ぐ電子出版関連

■電子コミックが急成長、既にマンガ単行本を上回る

10月29日に2019年3月期業績予想を増額したインフォコム<4348>は経常利益を65.50億円から67.00億円(前期比12.0%増)に、30日にやはり19年3月期業績予想を上方修正したパピレス<3641>は経常利益を13.34億円から17.59億円(前期比40.4%増)にそれぞれ引き上げた。ともに電子コミック配信サービスの好調が業績上方修正につながっている。

出版科学研究所が今年2月に発表した2017年のコミックス(マンガ単行本)の市場規模は、電子版の推定販売金額が紙の単行本を初めて上回ったとしている。雑誌も含めたコミック市場全体の規模が縮小するなかで、電子コミック分野は数少ない成長分野になっている。

日本政府とインターネットプロバイダーが今年4月に動き、成長阻害の要因となっていた海賊版対策が一定の効果を表し始めたこともプラス材料として働いた可能性がある。日本は優良なマンガコンテンツが豊富で、今後も電子コミックを中心とする電子出版が成長するとの期待は大きい。

■主な「電子出版」関連銘柄

コード	銘柄	市場	11/9 株価(円)	概要
3138	富士山マガジンサービス	マザーズ	879.0	電子書籍販売を行うオンライン書店を運営
3393	スターティアホールディングス	東証1部	643.0	グループのスターティアラボで電子書籍作成ソフト事業を展開
3641	パピレス	JASDAQ	2,940.0	電子書籍販売サイト「パピレス」や電子書籍レンタルサイト「レンタ!」運営
3658	イーブックイニシアティブジャパン	東証1部	1,598.0	電子書籍サービス「eBookJapan」運営、Yahoo!ブックストア受託拡大を推進
3663	アーツパークホールディングス	東証2部	1,249.0	マンガ・アニメ制作ソフトウェア等を手掛ける、モバイルブックにも出資
3678	メディアドゥホールディングス	東証1部	2,500.0	「LINEマンガ」等電子書籍の取次を主力業務に持つ。「コミなび」も運営
3981	ビーグリー	東証1部	1,394.0	スマホ向け電子コミック配信サービス大手の「まんが王国」を運営
4293	セブテニ・ホールディングス	JASDAQ	242.0	連結子会社のコミックスマートが連載型新作マンガアプリ「GANMA!」運営
4348	インフォコム	JASDAQ	4,420.0	グループのAmTasが電子コミックサービス大手「めちゃコミック」運営
4755	楽天	東証1部	930.0	「楽天Kobo」の提供する電子書籍や電子書籍リーダーを米国ウォルマートで販売
4813	ACCESS	マザーズ	985.0	同社の電子テキスト配信システムが小中高等学校向け電子書籍サービスに採用
7838	共立印刷	東証1部	269.0	子会社の映印刷が電子コミックの電子書籍事業を展開
7912	大日本印刷	東証1部	2,588.0	任天堂「3DS」で児童書専門の電子書籍配信サービス。電子ストア「honto」も運営
9467	アルファポリス	マザーズ	1,794.0	WEBに投稿されたライトノベルから人気作を選び編集、書籍化し電子出版
9468	カドカワ	東証1部	1,343.0	直営の電子書籍配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」や外部販売も展開
9470	学研ホールディングス	東証1部	6,150.0	電子書籍のほかコンテンツサービスの学研ゼミ・学研プライムゼミなど開発
9478	SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ	JASDAQ	207.0	主力企業は翔泳社で各種電子コンテンツと開発も手掛ける
9479	インプレスホールディングス	東証1部	168.0	「デジタルカメラマガジン」「DOS/V POWER REPORT」の電子雑誌を提供

出所: フィスコ作成

株価「大化け」候補銘柄

■決算発表直後は投資リスクが後退する局面

あくまで投資リスクは残るものの、株価大化けの可能性のある銘柄を探ってみよう。ここ1年間でみても、株価が5倍以上に急伸するような銘柄は多く散見されているが、共通した特徴が多く見受けられる。時価総額が小さい、浮動株比率が少ない、比較的割高感が強いなどだ。割高感が強い銘柄には株価上昇場面で空売りが入るため、その買い戻しが株価の一段の上昇につながりやすい。以下に掲げた銘柄は、どこかのタイミングで仕掛けられる要件を備えた銘柄ということができる。決算発表直後のタイミングは、こうした銘柄に関心を傾けるにやや適した場面ともいうことができよう。

スクリーニング要件としては、①個人投資家持株比率が20%未満、②PBRが2倍以上、③時価総額200億円未満、④ここ1年間の株価上昇率が20%未満。

■大化け候補銘柄

コード	銘柄	市場	11/9株価 (円)	時価総額 (億円)	PBR(倍)	個人投資家 持株比率 (%)	株価騰落率 (%)	予想 1株利益 (円)
2391	プラネット	JASDAQ	1,901.0	126.1	2.84	18.95	-8.4	63.34
2905	オーケー食品工業	JASDAQ	1,294.0	48.1	2.02	18.35	10.2	2.70
3536	アクサスホールディングス	JASDAQ	131.0	42.3	2.62	18.70	4.8	2.58
4833	ばど	JASDAQ	408.0	81.6	6.37	19.60	-28.8	11.58
7191	イントラスト	東証1部	450.0	99.8	4.08	18.14	-32.7	24.58
7577	HAPiNS	JASDAQ	324.0	48.6	6.10	18.59	-37.5	25.71
9713	ロイヤルホテル	東証2部	1,716.0	176.3	13.29	19.22	-12.0	126.91
9723	京都ホテル	東証2部	780.0	86.5	3.72	18.87	-2.6	10.82
9836	リーバイ・ストラウス ジャパン	JASDAQ	1420.0(11/8)	82.2	2.86	12.30	-7.2	86.42

(注) 株価騰落率は10/9まで1年間

イベント通過後は上方修正銘柄を牽引役とした上昇相場へ

■今決算での主な上方修正銘柄

主要上場企業の上期決算（4-9月期）は11/5のソフトバンク<9984>、11/6のトヨタ<7203>の発表を終え、ピークを越えた。18年度の主要上場企業200社の経常利益率は2ケタ増益となっており、会社の事前予想を大きく上振れている。大和証券では、中国景気や米中貿易摩擦の先行きに懸念を表明しつつも目に見える影響が出たという企業が少なかったこと、一部の半導体製造装置・設備投資関連企業の下方修正を除き上方修正を行った主力銘柄が多かったことなどがプラス材料であったと指摘。また、同証券は、中間選挙というイベント通過後の株式相場は上昇する傾向があることから、相場上昇にも期待したいと述べている。これらを踏まえ、同レポートでは、経常利益の上方修正を発表した主な銘柄のほか、利益の修正要因などを掲載している。

■主な経常利益上方修正銘柄(大和証券)

決算期	コード	銘柄名	利益修正理由
3月決算	7203	トヨタ自動車	為替前提変更(106円→110円/ドル、126円→130円/ユーロ)
3月決算	6758	ソニー	音楽、PS4のネットゲーム課金、画像半導体を増額
3月決算	7267	本田技研工業	二輪台数増、円安、コストダウン
3月決算	4502	武田薬品工業	資産売却益、他社後発薬の投入遅れ
3月決算	6301	コマツ	アジアと北米向けに鉱山機械、建機が好調
3月決算	7269	スズキ	日印で販売台数予想増額。ルピー安の影響をカバー
3月決算	6981	村田製作所	コンデンサ売上高の増額、為替前提を円安へ
3月決算	4063	信越化学工業	半導体シリコンウエハ、塩ビ樹脂上振れ
3月決算	3407	旭化成	樹脂原料の市況上昇に伴うマージン拡大
3月決算	4188	三菱ケミカルHD	アクリル樹脂材料や炭素繊維の市況上昇
3月決算	6857	アドバンテスト	AIチップ搭載の半導体向け検査装置の需要拡大
3月決算	6762	TDK	コンデンサ、電池等の数量増
3月決算	3861	王子HD	海外ダンボールの好調、パルプ製品市況の上昇
3月決算	9022	東海旅客鉄道	新幹線需要好調
3月決算	6963	ローム	事務機や車載向け半導体好調

※出所: 大和証券レポートより引用

売り残高は6週連続での減少

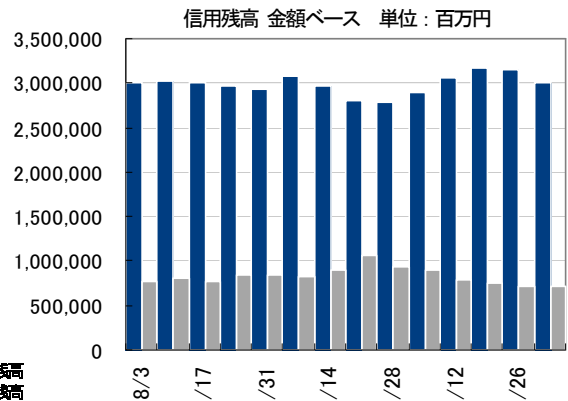
11月2日時点の2市場信用残高は、買い残高が1421億円減の3兆38億円、売り残高が50億円減の7153億円だった。買い残高が2週連続で減少し、売り残高も小振りながら6週連続での減少となった。買い方の評価損益率は-16.07%から-10.44%と大幅に改善し、売り方の評価損益率は5.29%から-1.09%となった。信用倍率は4.37倍から4.20倍になっている。

この週(10月29日-11月2日)の日経平均は前週末比1059.06円高の22243.66円。週間ベースでは5週ぶりのプラス転換。週初の日経平均は上海株の軟調を嫌気して3日続落。30日は上海総合指数の反発と円相場の弱含みを追い風に、決算を発表したコマツ<6301>やファナック<6954>などが買われて日経平均は大幅反発となった。また、トランプ大統領の発言を受けて貿易摩擦懸念が和らぎ30日のNYダウが急反発、31日の日経平均も大幅続伸に。1ドル113円台まで円安が進んだことも好感され、好決算を発表したソニー<6758>などが買い進まれた。11月1日はNTTドコモ<9437>の携帯電話通話料の大幅値下げ方針を受け、通信株が急落して日経平均も反落。しかし、2日は複数の主要企業の好決算を受けたNYダウの続伸を受けて反発し10月24日以来の22000円台を回復。後場に「トランプ米大統領が中国との貿易合意の草案作成を指示」と伝わると、日経平均は一段高となった。

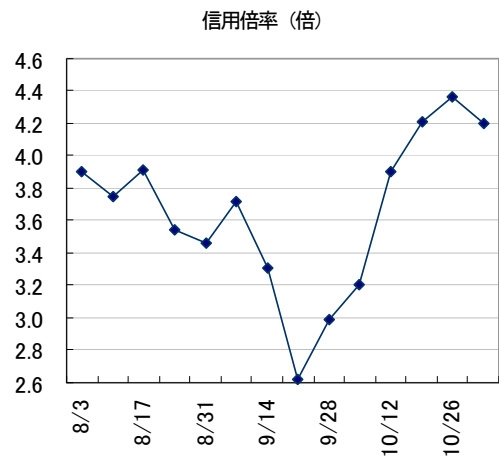
個別では、SMC<6273>の信用倍率が16.78倍から2.18倍と取り組みが改善している。コマツ<6301>などの良好な決算を受けた業績期待波及で株価が上昇し、新規の売りが積みあがった。また、キーエンス<6861>も9.51倍から2.81倍と取り組みが改善している。

取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	11/9終値(円)	信用買残(11/2:株)	信用売残(11/2:株)	信用倍率(11/2:倍)	信用買残(10/26:株)	信用売残(10/26:株)	信用倍率(10/26:倍)
6273	東証1部	SMC	35,320.0	105,000	48,100	2.18	191,300	11,400	16.78
6861	東証1部	キーエンス	61,050.0	287,900	102,300	2.81	419,600	44,100	9.51
6981	東証1部	村田製	18,940.0	715,800	186,600	3.84	1,142,200	101,400	11.26
6954	東証1部	ファナック	19,580.0	813,900	229,200	3.55	1,067,900	108,600	9.83
9983	東証1部	ファーストリテイ	60,290.0	106,500	563,400	0.19	188,300	389,300	0.48
6857	東証1部	アドバンテ	2,458.0	3,688,800	816,700	4.52	3,821,000	342,500	11.16
6146	東証1部	ディスコ	17,460.0	97,800	90,900	1.08	140,400	56,600	2.48
9101	東証1部	郵船	1,932.0	4,660,300	987,500	4.72	4,188,200	416,600	10.05
6702	東証1部	富士通	7,086.0	370,800	192,700	1.92	397,200	107,200	3.71
5332	東証1部	TOTO	4,275.0	466,300	375,200	1.24	514,700	220,300	2.34
8848	東証1部	レオパレス21	506.0	2,792,100	3,115,400	0.90	2,915,500	1,791,200	1.63
4755	東証1部	楽天	930.0	12,775,800	1,863,500	6.86	13,468,100	1,112,300	12.11
9008	東証1部	京王	6,070.0	5,800	238,800	0.02	7,700	227,000	0.03
3436	東証1部	SUMCO	1,642.0	13,278,700	1,131,100	11.74	15,127,100	765,600	19.76
3092	東証1部	ZOZO	2,598.0	3,887,400	880,600	4.41	4,074,200	549,900	7.41



■売り残高
■買い残高



コラム: 米中間選挙「大勝利」でドル安始動

トランプ政権の今後を左右するアメリカ中間選挙は、与党・共和党が下院で過半数を割り込み、「ねじれ」を許す結果となりました。しかし、上院での議席増は親トランプの結束を強め、切り札のドル安政策などを加速させる原動力となりそうです。

今回の中間選挙は上院35議席、下院435議席が争われ、大接戦の末、民主党が下院の過半数議席を獲得しました。米議会では今後、民主党が下院でトランプ政権への対決姿勢を強め、ロシア疑惑などの問題が蒸し返される見通しです。トランプ政策の本丸であるインフラ投資も、財政赤字拡大につながるとの観点から反発が強まるでしょう。議会での審議が滞れば、景気への影響も懸念されます。

筆者は1カ月前から上下両院とも共和党が過半数を維持するとみていました。その最大の理由は、経済情勢のITバブル期以来の好調で、株価も9月まで最高値更新が続いていたためです。さらに、大統領が当選後最初の中間選挙で逆風にさらされる傾向があるにしても、2年前の選挙でトランプ氏は圧勝でなかった分、クリントン、オバマ両元大統領に比べ揺り戻しもそれほど大きくないと考えたためです。

開票作業が進んで民主党の下院勝利の可能性が高まると、トランプ大統領はツイッターで「素晴らしい大勝利、みんなありがとう！」とつぶやきました。当初は単なる負け惜しみだと思いましたが、どうやらそうでもなさそうです。ポイントは上院での勢力拡大です。最初の中間選挙で上院の議席を増やすのは珍しいケースのようです。共和党内の親トランプの結束力が強まったことは、議会運営に表れるでしょう。

法案審議の可決に上院に必要な議席数は、過半数で済む案件もあります。最も大きいのは、最高裁判事などの人事と自由貿易協定の承認です。特に、トランプ政権は昨年12月にまとめた「国家安全保障戦略」で経済的な覇権を強調。ロシアや中国、欧州連合(EU)との貿易戦争も辞さない姿勢を打ち出しており、今年に入って貿易赤字是正に向け貿易相手国への制裁を強めています。

共和党が上院で議席を増やしたことで、貿易問題にはさらに強気の姿勢になりそうです。下院で過半数を獲得した民主党がグローバリズムの立場からトランプ政権の自国利益最優先の通商政策に反対しても、抑止はできないでしょう。議席数を減らしたからといってトランプ政権が民主党の主張を受け入れざるを得ない、とみるのはインテリの理論です。それが通用しないことに気づくべきです。

中間選挙の結果を受け、米中首脳会談の行方が注目されます。足元の中国経済はデータが示すようにやや減速ぎみで、成長を維持しようと金融政策も緩和方向に向かっています。しかし、足元の人民元は1ドル=7元の節目に接近。その水準を割り込むと他の新興国通貨の売りも強まると警戒されています。中国政府はどこまでも強気なトランプ政権の攻撃をかわすため、元切り上げに合意するとの観測も一部にあります。

中国が通貨安政策を改めれば、これから始まる日米物品貿易協定(TAG)交渉でも日本の為替条項受け入れは時間の問題かもしれません。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-10
2	レーティング	格上げ・買い推奨	11
		格下げ・売り推奨	12
3	投資主体別売買動向	総括コメント	13
		市場別データ	14
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	15
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄（東証1部）	16
		雲下抜け銘柄（東証1部）	17

11月12日～11月17日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
11月12日	月	08:50	国内企業物価指数(10月)
		15:00	工作機械受注(10月)
		16:00	ブ・FPIE消費者物価指数(週次)(11月7日まで1カ月間)
		19:25	ブ・週次景気動向調査
		21:00	印・CPI(10月)
		21:00	印・鉱工業生産(9月)
		26:00	ブ・貿易収支(週次)(11月11日まで1カ月間)
			国債買い入れオペ(残存5-10年)(日本銀行)
			決算発表 大林組、近鉄GHD、ソニーFH、浜松ホトニク、Jディスプレイ、ユー・エス・エス
			米・サンフランシスコ連銀総裁が講演
			中・マネーサプライ(10月、15日まで)
			中・元建て新規貸出(10月、15日まで)
			中・経済全体のファイナンス規模(10月、15日まで)
		11月13日	火
16:00	独・CPI改定値(10月)		
18:30	英・失業率(10月)		
18:30	英・ILO失業率(3カ月)(9月)		
19:00	独・ZEW期待指数(11月)		
19:00	欧・ZEW期待指数(11月)		
20:00	ブ・小売売上高(9月)		
20:00	ブ・広義小売売上高(9月)		
28:00	米・財政収支(10月)		
	安倍首相がベンス米副大統領と会談		
	決算発表 鹿島、光通信、リクルートH、大日印、MUFG、朝日インテ、住友		
	米・ミネアポリス連銀総裁が講演		
	決算発表 バイエル、ホーム・デポ		
11月14日	水	08:50	GDP速報値(7-9月)
		11:00	中・鉱工業生産指数(10月)
		11:00	中・小売売上高(10月)
		11:00	中・固定資産投資(都市部)(10月)
		13:30	第3次産業活動指数(9月)
		13:30	設備稼働率(9月)
		15:30	印・卸売物価(10月)
		16:00	独・GDP(7-9月)
		16:05	タイ・中央銀行が政策金利発表
		18:30	英・消費者物価コア指数(10月)
		18:30	英・生産者物価産出コア指数(10月)
		19:00	ブ・FGVインフレ率(IGP-10)(11月)
		19:00	欧・ユーロ圏鉱工業生産指数(9月)
		19:00	欧・ユーロ圏内GDP改定値(7-9月)
		20:00	ブ・IBGEサービス部門売上高(9月)
		21:00	米・MBA住宅ローン申請指数(先週)
		22:30	米・消費者物価コア指数(10月)
			決算発表 大塚HD、昭シェル、T&DHD、日本郵政、出光興産、みずほFG、かんぽ生命、ゆうちょ銀
			決算発表 電通、日ペイントHD、三井住友H、第一生命HD、三井住友F、スルガ銀
			米・クオールズFRB副議長が下院議会証言
			米・パウエルFRB議長が講演
			国際エネルギー機関(IEA)月報
			決算発表 テンセント、メルク、シスコ

11月12日～11月17日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
11月15日	木	08:50	対外・対内証券投資(先週)
		09:30	豪・失業率(9月)
		10:30	中・新築住宅価格指数(10月)
		12:00	首都圏マンション発売(10月)
		16:00	トルコ・失業率(8月)
		16:00	欧・新車販売台数(10月)
		18:30	英・小売売上高指数(10月)
		19:00	欧・貿易収支(9月)
		19:30	ブ・経済活動(9月)
		22:30	米・ニューヨーク連銀製造業景気指数(11月)
		22:30	米・小売売上高(10月)
		22:30	米・フィラデルフィア連銀製造業景況指数(11月)
		22:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		22:30	米・輸入物価指数(10月)
		24:00	米・企業在庫(9月)
			印・貿易収支(10月)
			米・クオールズFRB副議長が上院議会証言
			米・ミネアポリス連銀総裁が講演
			ブ・株式市場は祝日のため休場(Proclamation of The Republic)
			フィリピン・中央銀行が政策金利発表
	インドネシア・中央銀行が政策金利発表		
	APEC閣僚会議(パプアニューギニア)		
	決算発表 ウォルマート、アプライド、エヌビディア		
11月16日	金	13:00	マレーシア・GDP(7-9月)
		19:00	欧・ユーロ圏CPI改定値(10月)
		23:15	米・鉱工業生産指数(10月)
		23:15	米・設備稼働率(10月)
		30:00	米・対米証券投資収支(ネット長期TICフロー)(9月)
			国債買い入れオペ(残存10-25年、残存5-10年、残存25年超)(日本銀行)
			米・シカゴ連銀総裁が講演
11月17日	土		APEC首脳会議(パプアニューギニア、18日まで)

■(日)7-9 月期国内総生産**14日(水)午前8時50分発表予定**

(予想は、前期比年率-0.9%) 4-6月期に高い伸びとなった民間消費、設備投資が減少に転じたことが要因。天候不順、生鮮野菜、エネルギー価格の上昇による実質購買力の低下も成長率鈍化の間接的な要因とみられる。外需寄与度はマイナスになると予想される。なお、4-6月期実質GDP成長率は公的固定資本形成、外需の下方修正などから、下方修正される可能性がある。

■(欧)7-9 月期ユーロ圏域内総生産改定値**14日(水)午後7時発表予定**

(予想は前年同期比+1.7%) 参考となる速報値は前期比+0.2%、前年比では+1.7%にとどまった。域内景況感の改善は遅れており、成長率は4-6月期との比較で鈍化する可能性が高いと予想されていた。イタリア、ドイツの成長率鈍化などが要因。改定値については、速報値から上方修正される項目が少ないことから、速報値と同じ成長率にとどまる可能性が高いと予想される。

■(米)10 月消費者物価コア指数**14日(水)午後10時30分発表予定**

(予想は前年比+2.2%) 参考となる9月実績は前年比+2.2%で市場予想と一致した。家賃の伸びは鈍化しており、物価上昇率で突出している項目はなかった。10月については家賃上昇率の伸びは引き続き鈍化する可能性があるものの、上昇率が鈍化している項目は少ないことから、2%超のコアインフレ率となる可能性が高いとみられる。

■(米)10 月小売売上高**15日(木)午後10時30分発表予定**

(予想は、前月比+0.5%) 参考となる9月実績は前月比+0.1%にとどまった。ただ、コア売上高は前月比+0.5%で市場予想を上回った。9月はハリケーンによる被害の影響が大きかったとみられる。10月については9月に大きく落ち込んだ飲食店の売上高は反動増となる見込みだが、その他の項目では小幅な伸びにとどまる可能性があるため、市場予想は妥当な水準か。

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月12日	1435	TATERU	東証1部	15:00		3987	エコモット	マザーズ	
	1443	技研HD	東証2部	15:00		4082	稀元素	東証1部	15:00
	1491	中外鉱	東証2部	15:00		4124	大阪油化	ジャスダックス	15:00
	1716	第一カッター	東証1部	15:00		4203	住友ベ	東証1部	13:00
	1802	大林組	東証1部	12:00		4221	大倉工	東証1部	15:00
	1824	前田建	東証1部	13:00		4242	タカギセイコー	ジャスダックス	15:00
	1833	奥村組	東証1部	16:00		4243	ニックス	ジャスダックス	15:00
	1866	北野建	東証1部	15:00		4245	ダイキアクシス	東証1部	15:00
	1882	東垂道	東証1部	16:00		4336	クリエアナブキ	ジャスダックス	14:00
	1883	前田道	東証1部	15:00		4381	ビーブラツ	マザーズ	15:00
	1885	東垂建	東証1部	16:00		4396	システムサポート	マザーズ	15:00
	1890	東洋建	東証1部	15:00		4553	東和薬品	東証1部	15:00
	1921	巴コーポ	東証1部	12:00		4625	アトミクス	ジャスダックス	14:00
	1954	日工営	東証1部	15:00		4686	ジャストシステ	東証1部	16:00
	1979	大気社	東証1部	14:00		4732	ユー・エス・エス(11/06)	東証1部	16:00
	1992	神通機	ジャスダックス	15:00		4748	構造計画	ジャスダックス	
	2009	鳥越粉	東証1部	15:00		4784	GMO-AP	ジャスダックス	15:00
	2055	日和産	東証2部	15:00		4925	HABA	ジャスダックス	16:00
	2156	セーラー広告	ジャスダックス	15:00		4962	互応化学	東証2部	15:00
	2180	サニーサイド	東証2部	16:00		4966	上村工業	東証2部	13:00
	2195	アマタHD	ジャスダックG	15:00		4976	ドライルーブ	ジャスダックス	15:00
	2224	コモ	ジャスダックス	15:00		5121	藤倉ゴム工業	東証1部	14:00
	2291	福留ハム	東証2部			5269	日本コン	東証1部	14:00
	2311	エプコ	ジャスダックス	15:00		5342	ジャニス	名証2部	
	2329	東北新社	ジャスダックス	15:00		5698	エンビプロH	東証1部	16:00
	2385	総医研	マザーズ	15:00		5851	リョービ	東証1部	13:00
	2705	大戸屋HD	ジャスダックス	15:00		5915	駒井ハルテク	東証1部	14:00
	2743	ビクセル	ジャスダックス	16:00		5921	川岸工	東証2部	15:00
	3020	アプライド	ジャスダックス	15:00		5945	天龍鋸	ジャスダックス	16:00
	3068	WDI	ジャスダックス	15:00		5981	東京網	東証1部	13:00
	3138	富士マガ	マザーズ	12:00		6036	KeePer技	東証1部	
	3143	オーウイル	東証2部	13:00		6063	EAJ	ジャスダックス	
	3204	トーア紡	東証1部	15:00		6072	地盤ネットH	マザーズ	
	3205	ダイドリミ	東証1部	15:00		6095	MDピア	マザーズ	15:00
	3241	ウヰル	東証2部	15:00		6101	ツガミ	東証1部	11:00
	3252	日商開発	東証1部	16:00		6137	小池工	東証2部	17:00
	3276	日本管理	東証1部	15:00		6144	西電機	東証2部	15:00
	3302	帝繊維	東証1部	15:00		6167	富士ダイス	東証1部	15:00
	3306	日本麻	東証2部	15:00		6175	ネットマーケ	東証2部	15:00
	3371	ソフトクリエHD	東証1部	15:00		6198	キャリア	マザーズ	15:00
	3416	ピクスタ	マザーズ	15:00		6208	石川製	東証1部	15:00
	3504	丸八HD	名証2部			6237	イワキポンプ	東証2部	
	3540	Ciメディカル	ジャスダックス	15:00		6250	やまびこ	東証1部	15:00
	3551	ダイニック	東証1部	11:00		6265	妙徳	ジャスダックス	16:00
	3559	ピーバン	マザーズ			6266	タツモ	東証1部	15:00
	3578	倉庫精	東証2部	13:00		6278	ユニオンツール	東証1部	15:00
3623	ピリングシス	マザーズ	15:00		6291	エアータック	東証1部	16:00	
3689	イグニス	マザーズ	15:00		6310	井関農	東証1部	15:00	
3766	システムズD	ジャスダックス	15:00		6316	丸山製	東証1部	13:00	
3769	GMOPG	東証1部	15:31		6339	新東工	東証1部		
3788	GMOクラウド	東証1部	15:00		6356	日ギア	東証2部	13:00	
3814	アルファクスFS	ジャスダックG			6378	木村化	東証1部	16:00	
3847	パンフィックS	ジャスダックス	15:00		6408	小倉クラ	ジャスダックス	15:00	
3865	北越コーポ	東証1部	15:00		6463	TPR	東証1部	15:00	
3902	MDV	東証1部	15:00		6480	日トムソン	東証1部	13:00	
3913	sMedio	マザーズ			6494	NFK-HD	ジャスダックス	16:00	
3924	ランドコンピ	東証1部	15:00		6540	船場	東証1部	16:00	
3951	朝日印刷	東証2部	15:00		6580	ライトアップ	マザーズ	15:00	
3983	オロ	東証1部			6616	トレックスセミ	東証1部	15:00	
3986	ビーブレイク	マザーズ	15:00		6635	大日光	ジャスダックス	15:00	

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月12日	6677	エスケーエレクト	ジャスダックス	15:00	11月13日	8854	日住サ	東証2部	15:00
	6698	VISCOTEC	ジャスダックス	15:00		8871	ゴールドクレ	東証1部	15:00
	6715	ナカヨ	東証1部	15:00		9017	新潟交	東証2部	14:00
	6740	JDI	東証1部	15:00		9025	鴻池運輸	東証1部	16:00
	6748	星和電	東証1部	16:00		9033	広電鉄	東証2部	13:00
	6785	鈴木	東証1部	15:00		9041	近鉄GHD	東証1部	14:00
	6824	新コスモス	ジャスダックス	16:00		9051	センコン物流	ジャスダックス	16:00
	6838	多摩川HD	ジャスダックス	16:00		9082	大和自	東証2部	15:00
	6839	船井電機	東証1部	16:00		9083	神姫バス	東証2部	
	6877	OBARA-G	東証1部	17:00		9087	タカセ	ジャスダックス	15:00
	6942	ソフィアHD	ジャスダックス			9176	佐渡汽	ジャスダックス	13:00
	6965	ホトニクス	東証1部	15:00		9193	東汽船	東証2部	14:00
	6993	大黒屋HD	東証2部	16:00		9278	ブックオフGHD	東証1部	15:00
	7150	島根銀行	東証1部	14:00		9359	伊勢海	名証2部	
	7157	ライフネット	マザーズ	15:00		9362	兵機海	東証2部	15:00
	7167	めぶきFG	東証1部	15:00		9363	大運	東証2部	15:00
	7169	ニュートンFC	ジャスダックス	15:00		9386	日コンセプト	東証1部	15:00
	7192	モーゲージS	東証1部	15:00		9446	サカイHD	ジャスダックス	15:00
	7238	曙ブレーキ	東証1部	15:00		9449	GMO(11/12)	東証1部	15:30
	7264	MURO	ジャスダックス	13:00		9631	東急レク	東証2部	16:00
	7291	日プラスト	東証1部	15:00		9635	武蔵野	東証2部	16:00
	7314	小田原機	ジャスダックス	15:00		9639	三協フロン	ジャスダックス	15:00
	7456	松田産業	東証1部	16:00		9675	常磐興	東証1部	15:00
	7462	ダイヤ通商	ジャスダックス	15:00		9695	鴨川ホテル	ジャスダックス	15:00
	7472	鳥羽洋行	ジャスダックス	15:00		9704	アゴーラHG	東証1部	
	7562	安楽亭	東証2部	16:00		9755	応用地	東証1部	
	7593	VTHD	東証1部			9816	ストライダーズ	ジャスダックス	15:00
	7613	シークス	東証1部	14:00		9854	愛眼	東証1部	15:00
	7815	東ボード	東証2部	15:00		9869	加藤産業	東証1部	13:00
	7819	SHO-BI	東証1部	15:00		9964	アイ・テック	ジャスダックス	11:00
	7849	スターツ出版	ジャスダックス	14:00		1384	ホクリヨウ	東証1部	15:00
	7872	エステールHD	東証1部	16:00		1724	シンクレイヤ	ジャスダックス	15:00
	7875	竹田印刷	東証2部	13:00		1770	藤田エンジ	ジャスダックス	15:00
	7886	ヤマト・インダ	ジャスダックス	15:00		1805	飛島建	東証1部	15:00
	7895	中央化学	ジャスダックス	15:00		1812	鹿島(11/13)	東証1部	12:00
	8115	ムーンパット	東証2部	15:00		1815	鉄建	東証1部	16:00
	8207	テンアライド	東証1部	15:00		1822	大豊建	東証1部	16:00
	8215	山形屋	ジャスダックス	15:00		1904	大成温	ジャスダックス	
	8279	ヤオコー	東証1部	15:00		1987	ソルコム	東証2部	15:00
	8338	筑波銀行	東証1部	15:00		2150	ケアネット	マザーズ	15:00
	8343	秋田銀	東証1部	14:00		2160	ジーエヌアイ	マザーズ	
	8349	東北銀	東証1部	13:00		2179	成学社	ジャスダックス	15:00
	8354	ふくおか	東証1部	13:00		2191	テラ	ジャスダックス	
	8356	十六銀	東証1部	15:00		2196	エスクリ	東証1部	16:00
	8360	山梨銀	東証1部	15:00		2215	第一パン	東証1部	16:00
	8361	大垣銀	東証1部	16:00		2293	滝沢ハム	ジャスダックス	16:00
	8369	京都銀	東証1部	14:00		2304	GSSHD	ジャスダックス	
	8370	紀陽銀行	東証1部	14:00		2384	SBSHD	東証1部	13:00
	8377	ほくほく	東証1部	15:00		2467	バルクHD	セントレックス	
8381	山合銀	東証1部		2654	アスモ	東証2部	16:00		
8392	大分銀	東証1部	15:00	2831	はごろも	東証2部	15:00		
8515	アイフル	東証1部	15:00	2882	イトアンド	東証1部	15:00		
8518	アジア投資	東証1部	15:00	2904	一正蒲	東証1部	16:00		
8530	中京銀	東証1部	15:00	2916	仙波糖化	ジャスダックス	15:00		
8551	北日銀	東証1部	15:00	3010	価値開発	東証2部	16:00		
8562	福島銀	東証1部	15:00	3032	ゴルフ・ドゥ	セントレックス			
8713	フィデアHD	東証1部		3069	JFLAHD	ジャスダックス	16:00		
8729	ソニーFH	東証1部	15:00	3096	オーシャン	ジャスダックス	15:00		
8783	GFA	ジャスダックス	15:00	3165	フーマイエレ	ジャスダックス	15:00		
8798	アドバンスク	東証1部	15:00	3175	APC	東証1部	16:00		

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月13日	3182	オイシックス	マザーズ	15:00	4990	昭和化	東証2部	14:00	
	3184	ICDA	東証2部	15:00	4997	日農薬	東証1部	16:00	
	3185	夢展望	マザーズ	15:00	5194	相模ゴム	東証2部	15:00	
	3293	アズマハウス	ジャスダックS	15:00	5282	ジオスター	東証2部	15:00	
	3322	アルファG	ジャスダックS	15:00	5304	SECカーボン	東証2部	15:00	
	3355	クリヤマHD	東証2部	15:00	5381	Mipox	ジャスダックS	16:00	
	3358	ワイエスフード	ジャスダックS	15:00	5541	大平金	東証1部	15:00	
	3445	RSTECH	東証1部	15:00	5644	メタルアート	東証2部	14:00	
	3446	ジェイテック	マザーズ	15:00	5704	JMC	マザーズ	15:00	
	3474	G-FAC	マザーズ	15:00	5856	東理HD	東証2部	16:00	
	3515	フジコー	ジャスダックS	15:00	5912	OSJBHD	東証1部	16:00	
	3600	フジックス	東証2部	16:00	5935	元旦	ジャスダックS	15:00	
	3611	マツオカコーポ	東証1部	15:00	5939	大谷工業	ジャスダックS	15:00	
	3612	ワールド	東証1部	15:00	5943	ノーリツ	東証1部	15:00	
	3624	アクセルマーク	マザーズ		5984	兼房	東証2部	13:00	
	3681	ブイキューブ	東証1部	15:00	5987	オーネックス	ジャスダックS	15:00	
	3692	FFRI	マザーズ	15:00	6034	MRT	マザーズ		
	3708	特種東海	東証1部	15:00	6038	イード	マザーズ	15:00	
	3726	フォーシーズH	東証2部		6061	ユニバ園芸	ジャスダックS	15:00	
	3727	APLIX	マザーズ	15:00	6085	アーキテツツSJ	マザーズ	15:00	
	3777	ジオネクスト	ジャスダックG	16:00	6087	アビスト	東証1部		
	3877	中越バル	東証1部	14:00	6092	エンバイオHD	マザーズ	16:00	
	3904	カヤック	マザーズ	15:00	6096	レアジョブ	マザーズ		
	3918	PCIHD	東証1部	15:00	6098	リクルートHD	東証1部	15:00	
	3923	ラクス	マザーズ	15:00	6118	アイダ	東証1部	16:00	
	3925	DS	マザーズ	15:00	6125	岡本工	東証2部	15:00	
	3928	マイネット	東証1部	15:00	6131	浜井産	東証2部	14:00	
	3934	ベネフィットJ	東証1部	15:00	6143	ソディック	東証1部	15:00	
	3939	カナミックN	東証1部	17:00	6149	小田原	ジャスダックS	14:00	
	3960	パリュエデザイン	マザーズ	15:00	6177	AppBank	マザーズ	16:00	
	3964	オークネット	東証1部	15:00	6187	LITALICO	東証1部	16:00	
	3968	セグエグループ	ジャスダックS		6189	グローバルG	東証1部		
	3985	テモナ	マザーズ		6191	エポラブルA	東証1部		
	3992	ニーズウェル	東証2部	15:00	6233	極東産機	ジャスダックS		
	3999	ナレッジスイート	マザーズ	15:00	6236	NCHD	東証1部		
	4240	クラスターテクノ	ジャスダックG	16:00	6238	フリュー	東証1部	16:00	
	4247	ポパール興	名証2部		6247	日阪製	東証1部	14:00	
	4295	フェイス	東証1部	16:00	6258	平田機工	東証1部	15:00	
	4301	アミューズ	東証1部	15:00	6298	ワイエイシイHD	東証1部	15:00	
	4388	エーアイ	マザーズ	15:00	6317	北川鉄	東証1部	14:00	
	4391	ロジザード	マザーズ	15:00	6335	東京機	東証1部	15:00	
	4395	アクリート	マザーズ	15:00	6342	太平製	東証2部	16:00	
	4398	BBSEC	ジャスダックS	18:00	6361	荏原	東証1部	15:00	
	4406	日理化	東証1部		6376	日機装	東証1部	15:00	
	4527	ロート	東証1部	15:00	6416	桂川電	ジャスダックS	15:00	
	4575	CANBAS	マザーズ	15:00	6430	ダイコク電	東証1部	15:00	
	4591	リボミック	マザーズ	15:00	6433	ヒーハリスト	ジャスダックS	15:00	
	4633	サカタインクス	東証1部	15:00	6462	リケン	東証1部	15:00	
	4640	アンドール	ジャスダックS	16:00	6481	THK	東証1部	15:00	
4649	大成	名証2部		6497	ハマイ	ジャスダックS	15:00		
4650	SDエンター	ジャスダックS	15:00	6538	キャリアIND	東証1部			
4651	サニックス	東証1部	15:00	6545	IIF	マザーズ	15:00		
4664	RSC	ジャスダックS		6556	ウェルビー	マザーズ	16:00		
4712	KeyH	ジャスダックS	15:00	6562	ジーニー	マザーズ	15:00		
4754	トスネット	ジャスダックS	15:00	6564	ミダック	名証2部			
4776	サイボウズ	東証1部	15:00	6570	共和コーポ	東証2部			
4833	ばど	ジャスダックG	15:00	6571	QBネットHD	東証1部	15:00		
4963	星光PMC	東証1部	16:00	6574	コンヴァノ	マザーズ	15:00		
4971	メック	東証1部	15:00	6584	三桜工	東証1部	15:00		
4978	リプロセル	ジャスダックG	15:00	6618	大泉製	マザーズ	15:00		

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月13日	6763	帝通工	東証1部	15:00	11月14日	8830	住友不	東証1部	15:00
	6772	コスモス電	東証2部	15:00		8912	エリアクエスト	東証2部	
	6819	伊豆SR	ジャスダックス	16:00		8995	誠建設	東証2部	16:00
	6835	アライドHD	東証2部	15:00		9266	一家ダイニング	マザーズ	15:00
	6850	チノー	東証1部	14:00		9272	プティックス	マザーズ	16:00
	6852	テクノセブン	ジャスダックス	16:00		9365	トレーディア	東証2部	15:00
	6916	アイオデータ	東証1部	15:00		9408	新潟放	ジャスダックス	15:00
	6973	協栄産	東証1部	13:00		9417	スマートバリュ	東証2部	15:00
	7041	CRGHD	マザーズ	15:00		9421	エヌジェイHD	ジャスダックス	16:00
	7161	じもとHD	東証1部	15:00		9435	光通信	東証1部	12:00
	7173	東京きらぼしF	東証1部	16:00		9439	MHグループ	ジャスダックス	
	7180	九州FG	東証1部	15:00		9450	ファイバーゲート	マザーズ	
	7190	マーキュリア	東証1部			9610	ウィルソンWLV	ジャスダックス	15:00
	7198	アルヒ	東証1部	15:00		9664	御園座	名証2部	
	7254	ユニバンス	東証2部	16:00		9707	ユニマツRC	ジャスダックス	15:00
	7255	桜井製	ジャスダックス	14:00		9767	日建工	東証2部	16:00
	7284	盟和産	東証1部	15:00		9797	大日本コン	東証2部	16:00
	7294	ヨロズ	東証1部	15:00		9827	リリカラ	ジャスダックス	17:00
	7305	新家工	東証1部	15:00		9850	グルメ杵屋	東証1部	15:00
	7322	三十三FG	東証1部	15:00		9900	サガミHD	東証1部	14:00
	7326	SBIインシュG	マザーズ			9902	日伝	東証1部	15:00
	7416	はるやまHD	東証1部	15:00		9906	藤井産	ジャスダックス	15:00
	7448	ジンスメイト	東証1部	16:00		9908	日電計	ジャスダックス	13:00
	7455	三城HD	東証1部	15:00		9929	平和紙	東証2部	16:00
	7561	ハークスレイ	東証1部	16:00		9941	太洋物	ジャスダックス	16:00
	7577	HAPINS	ジャスダックス	15:00		1400	ルーデン	ジャスダックスG	15:00
	7618	PCDEPOT	東証1部			1438	岐阜造園	名証2部	
	7717	Vテクノロジー	東証1部	15:00		1446	キャンディル	マザーズ	15:00
	7726	黒田精	東証2部	15:00		1711	省電舎	東証2部	
	7729	東京精	東証1部	15:00		1757	クレアHD	東証2部	
	7747	アサヒインテック	東証1部	15:00		1762	高松G	東証1部	16:00
	7749	メディキット	ジャスダックス	15:00		1780	ヤマウラ	東証1部	14:00
	7758	セコニックHD	東証2部			1782	常磐開発	ジャスダックス	15:00
	7776	セルシード	ジャスダックスG	16:00		1783	アジアGTHD	ジャスダックス	16:00
	7780	メニコン	東証1部	13:00		1789	ETSHD	ジャスダックス	15:00
	7806	MTG	マザーズ	15:00		1841	サンユ建	ジャスダックス	15:00
	7809	壽屋	ジャスダックス	15:00		1879	新日建	東証1部	14:00
	7812	クレストック	ジャスダックス	15:00		1884	日道路	東証1部	13:00
	7834	マジスティ	ジャスダックス	16:00		1914	日基礎	東証1部	13:00
	7837	アールシーコア	ジャスダックス	15:00		2122	ISベース	マザーズ	15:00
	7851	カワセCS	東証2部			2134	サンキャピタル	ジャスダックス	15:00
	7867	タカラトミー	東証1部	15:00		2158	FRONTEO	マザーズ	
	7912	大日印	東証1部	15:00		2170	LINK&M	東証1部	
	7922	三光産	ジャスダックス	15:00		2183	リニカル	東証1部	16:00
	7999	MUTOH-HD	東証1部	16:00		2286	林兼産	東証1部	15:00
	8050	セイコーHD	東証1部	15:00		2321	ソフトフロントHD	ジャスダックスG	15:00
	8097	三菱石	東証1部	15:00		2330	フォーサイド	ジャスダックス	
8145	中水産	名証2部		2334	イオレ	マザーズ	16:00		
8191	光製作	ジャスダックス	15:00	2340	極楽湯HD	ジャスダックス			
8253	クレセゾン	東証1部	14:00	2362	夢真HD	ジャスダックス			
8306	三菱UFJ	東証1部	15:00	2388	ウェッジHD	ジャスダックスG			
8342	青森銀	東証1部	15:00	2410	キャリアDC	東証1部	16:00		
8508	Jトラスト	東証2部	16:00	2415	ヒューマンHD	ジャスダックス	15:00		
8527	愛知銀	東証1部	14:00	2458	夢テクノロジ	ジャスダックス	15:00		
8570	イオンFS	東証1部	15:00	2498	ACKG	ジャスダックス	15:00		
8600	トモニHD	東証1部	15:00	2608	ポーソー	東証2部	16:00		
8704	トレイダーズ	ジャスダックス	15:00	2673	夢隊	ジャスダックス	15:00		
8705	岡藤HD	ジャスダックス	15:00	2703	日本ライトン	ジャスダックス	16:00		
8714	池田泉州	東証1部	15:00	2708	久世	ジャスダックス	15:00		
8747	豊商事	ジャスダックス	15:00	2721	JHD	ジャスダックス	16:00		

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月14日	2795	プリメックス	ジャスダックス		4116	大日精	東証1部	15:00	
	2820	やまみ	東証2部	15:00	4186	応化工	東証1部	15:00	
	2874	ヨコレイ	東証1部	12:00	4222	児玉化	東証2部	15:00	
	2877	日東ベスト	ジャスダックス	15:00	4234	サンエー化研(11/14)	ジャスダックス	15:00	
	2928	RIZAPG	アンビシャス		4235	UFHD	ジャスダックス	15:00	
	3040	ソリトン	東証1部	15:00	4249	森六HD	東証1部	16:00	
	3041	ピ花壇	東証2部		4324	電通(11/14)	東証1部	15:30	
	3042	セキュアヴェイ	ジャスダックG	15:00	4346	ネクシーズG	東証1部	16:00	
	3076	あいHD	東証1部	15:00	4392	FIG	東証1部	15:00	
	3135	マーケットエンタ	マザーズ	15:00	4401	ADEKA	東証1部	13:00	
	3197	すかいらーく	東証1部	15:00	4421	DIシステム	ジャスダックス	15:00	
	3223	エスエルディー	ジャスダックス	15:00	4555	沢井製薬	東証1部	15:00	
	3277	サンセイランデ	東証1部	15:00	4578	大塚HD	東証1部	13:30	
	3288	オープンハウス	東証1部	15:00	4596	窪田製薬	マザーズ	15:00	
	3300	AMBITION	マザーズ	15:00	4597	ソレイジア	マザーズ	15:00	
	3350	RED	ジャスダックス		4612	日ペイントH	東証1部	15:00	
	3359	タイセイ	マザーズ	15:00	4631	DIC	東証1部	12:00	
	3374	内外テック	ジャスダックス	15:00	4653	ダイオーズ	東証1部	15:00	
	3390	INEST	ジャスダックス		4766	ピーエイ	東証2部		
	3392	デリカフーズ	東証1部	14:00	4845	スカラ	東証1部		
	3393	スターティアH	東証1部		5002	昭和シェル	東証1部	15:00	
	3395	サンマルクHD	東証1部	15:00	5019	出光興産	東証1部	15:00	
	3397	トリドールHD	東証1部		5216	倉元	ジャスダックス	15:00	
	3437	特殊電極	ジャスダックス	15:00	5262	日ヒューム	東証1部	14:00	
	3442	MIEコーポ	名証2部		5301	東海カ(11/14)	東証1部	15:00	
	3447	信和	東証2部	15:00	5337	ダントーHD	東証1部	15:00	
	3452	ビーロット	東証1部		5363	TYK	東証1部	15:00	
	3453	ケネディ商	東証REIT	15:00	5610	大和重	東証2部	16:00	
	3521	エコナックHD	東証1部	16:00	5699	イボキン	ジャスダックス	15:00	
	3528	フロスペクト	東証2部	15:00	5757	CKサンエツ	東証1部	14:00	
	3556	リネットジャパンG	マザーズ	14:00	5852	アーレスティ	東証1部	15:00	
	3661	エムアップ	東証1部		5918	滝上工	東証2部	15:00	
	3674	オークファン	マザーズ		5957	日東精	東証1部	15:00	
	3675	クロスマーケG	東証1部		5975	東プレ	東証1部	16:00	
	3679	じげん	東証1部	15:00	6030	アドベンチャ	マザーズ	16:00	
	3680	ホットリンク	マザーズ	15:00	6033	エクストリーム	マザーズ	15:00	
	3691	リアルワールド	マザーズ	15:00	6054	リブセンス	東証1部	15:00	
	3694	オブティム	東証1部	15:00	6078	パリュールHR	東証1部	14:00	
	3696	セレス	東証1部	15:00	6082	ライドオンE	東証1部	15:00	
	3710	ジョルダン	ジャスダックス	16:00	6113	アマダHD	東証1部	15:00	
	3747	インタレード	東証2部	15:00	6166	中村超硬	マザーズ	15:00	
	3758	アエリア	ジャスダックス		6176	プランジスタ	マザーズ	15:00	
	3803	イメージ情報開発	ジャスダックG	15:00	6178	日本郵政	東証1部	15:00	
	3807	フィスコ	ジャスダックG		6190	PXB	マザーズ	15:00	
	3825	REMIX	東証2部	16:00	6205	OKK	東証1部	15:00	
	3856	Abalance	東証2部		6254	野村マイクロ	ジャスダックス		
	3858	ユビキタスAI	ジャスダックス	15:00	6319	シンニッタン	東証1部	15:00	
	3900	クラウドワクス	マザーズ	15:00	6343	フリージアマク	東証2部	15:00	
	3909	ショーケースTV	東証1部		6384	昭和真空	ジャスダックス	16:00	
3920	アイビーシー	東証1部	16:00	6400	不二精機	ジャスダックス	14:00		
3927	フーパーブレイン	マザーズ	15:00	6407	CKD	東証1部	15:00		
3933	チエル	ジャスダックス		6409	キトー	東証1部	15:00		
3962	チェンジ	東証1部	15:00	6424	高見サイ	ジャスダックス	16:00		
3975	AOITYOHD	東証1部	15:00	6464	ツバキナカシマ	東証1部	16:00		
3979	うるる	マザーズ	16:00	6531	リファインパス	マザーズ	15:00		
3993	PKSHA	マザーズ	16:00	6533	Orchestra HD	マザーズ	15:00		
4022	ラサエ	東証1部	14:00	6551	ツナグ・ソリュ	東証1部	15:00		
4033	日東エフシー	東証1部	16:00	6554	エスユーエス	マザーズ	15:00		
4047	関電化	東証1部	15:00	6561	HANATOUR	マザーズ	15:00		
4098	チタン工	東証1部	15:00	6563	みらいワークス	マザーズ	16:00		

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月14日	6566	要興業	東証2部		11月15日	9360	鈴与シンワ	東証2部	16:00
	6575	ヒューマンHD	マザーズ	15:00		9470	学研HD	東証1部	15:00
	6620	宮越HD	東証1部	14:00		9517	イーレックス	東証1部	
	6624	田淵電	東証1部	15:00		9605	東映	東証1部	14:00
	6627	テラプロ	マザーズ	16:00		9758	ジシステム	ジャスダックス	16:00
	6637	寺崎電気	ジャスダックス	15:00		9823	マミーマート	ジャスダックス	
	6658	シライ電子	ジャスダックス	15:00		3323	レカム	ジャスダックス	
	6731	ピクセラ	東証2部	16:00		8952	JRE	東証REIT	15:00
	6786	RVH	東証2部	15:00		8986	日賃貸	東証REIT	15:00
	6846	中央製	名証2部						
	6871	マイクロニクス	東証1部	15:00					
	6890	フェローテックHD	ジャスダックス	15:00					
	6894	パルステック	東証2部	15:00					
	6977	抵抗器	東証2部	14:00					
	7181	かんぼ	東証1部	15:00					
	7182	ゆうちょ	東証1部	15:00					
	7199	プレミアグループ	東証2部	15:00					
	7245	大同メタ	東証1部	13:00					
	7273	イクヨ	東証2部	15:00					
	7320	日本リビング保証	マザーズ	16:00					
	7325	アイリックコーポ	マザーズ	15:00					
	7446	東北化学	ジャスダックス	16:00					
	7522	ワタミ	東証1部	15:00					
	7539	アイナボHD	ジャスダックス	13:00					
	7585	かんなん	ジャスダックス	15:00					
	7604	梅の花	東証2部	13:00					
	7635	杉田エース	ジャスダックス	15:00					
7707	PSS	マザーズ	15:00						
7734	理計器	東証1部	14:00						
7760	IMV	ジャスダックス	15:00						
7779	サイバダイ	マザーズ	15:30						
7781	平山HD	ジャスダックス	15:00						
7782	シンシア	東証1部	15:00						
7816	スノーピーク	東証1部	16:00						
7839	SHOEI	東証1部	11:00						
7869	日本フォーム	ジャスダックス	15:00						
7903	名木材	名証2部							
7953	菊水化	東証2部	11:00						
7957	フジコピア	東証2部	15:00						
8066	三谷商	東証2部							
8117	中央自	東証2部	14:00						
8123	川辺	ジャスダックス	13:00						
8147	トミタ	ジャスダックス	11:00						
8202	ラオックス	東証2部	16:00						
8205	シャクリーGG	ジャスダックス	15:00						
8304	あおぞら	東証1部	16:00						
8309	三住トラスト	東証1部	16:00						
8316	三井住友(11/19)	東証1部	17:00						
8358	スルガ銀	東証1部							
8411	みずほ	東証1部	15:00						
8750	第一生命HD	東証1部	16:30						
8795	T&DHD	東証1部	15:00						
8885	ラ・アトレ	ジャスダックG	15:00						
8958	グローバルRE	東証REIT	15:00						
8961	森トラストRE	東証REIT	15:00						
9012	秩父鉄	ジャスダックス	14:00						
9260	Wismettac	東証1部	16:00						
9271	和心	マザーズ	15:00						
9274	国際紙パルプ	東証1部							
9318	アジア開発	東証2部	15:00						

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
11月5日	CS	8967	日本ロジ	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	236000→262000
	ドイツ	9437	NTTドコモ	HOLD→BUY格上げ	-
	モルガン	5110	住友ゴム	OVERWEIGHT新規	2800
11月6日	大和	4506	大日住薬	4→3格上げ	1000→2600
11月7日	みずほ	4592	サンバイオ	中立→買い格上げ	1420→7800
11月9日	CS	6268	ナブテスコ	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	4000→3400
	岡三	6460	セガサミーHD	中立→強気格上げ	2000

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
11月5日	CS	3269	ADR	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	328000→305000
	ゴールドマン	8028	ユニファミマ	中立→売り格下げ	-
	みずほ	3234	森ヒルズ	買い→中立格下げ	155000→150000
	モルガン	5101	浜ゴム	EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ	1600→1450
		5105	東洋ゴム工業	OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ	2100→1800
	三菱	9715	トランスコスモ	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	2800→2500
	野村	4217	日立化成	BUY→NEUTRAL格下げ	2400→2070
11月6日	大和	3632	グリー	2→3格下げ	610→480
	東海東京	6879	IMAGICAG	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	1000→680
11月7日	大和	8113	ユニチャーム	2→3格下げ	3830→3180
	野村	4708	りらいあ	BUY→NEUTRAL格下げ	1720→1260
11月8日	大和	8028	ユニファミマ	3→4格下げ	7000→9500
11月9日	SMBC日興	3064	MonotaRO	1→2格下げ	2650→2800
	東海東京	5938	LIXILG	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	2900→1650

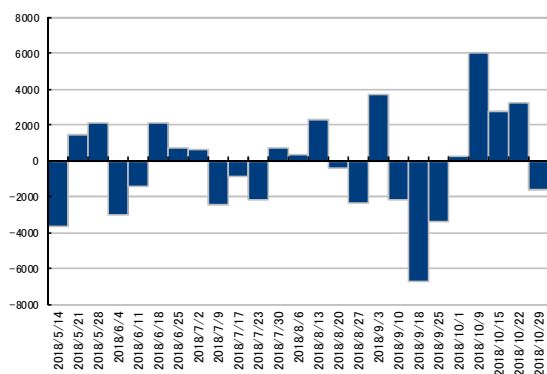
10月第5週:外国人投資家は総合で売り越し継続

10月第5週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で5766億円と売り越しを継続したが、現物については買い越しに転じた。一方で、個人投資家は2011億円と売り越しに転じた。

その他、都地銀は185億円と売り越しに転じ、生・損保は17億円と売り越しを継続した。一方で、投信は3146億円、信託は1650億円、事法は417億円と買い越しを継続した。他方、自己は、現物売り、225先物、TOPIX先物買いで2534億円と買い越しを継続。なお、この週の裁定残は、ネットベースで967.73億円減の5781.46億円となった。なお、週間の騰落率は日経平均で5.00%の上昇だった。

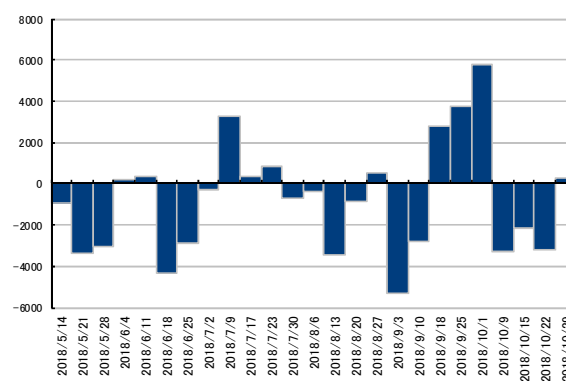
個人

単位:億円



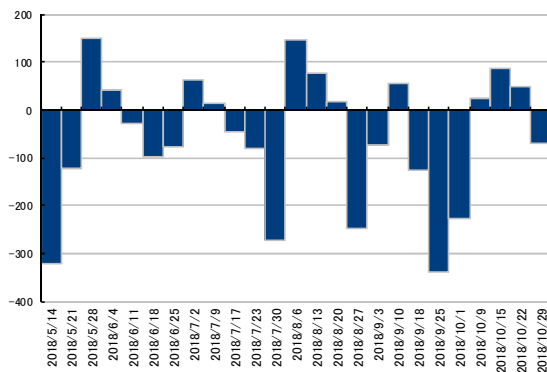
外国人

単位:億円



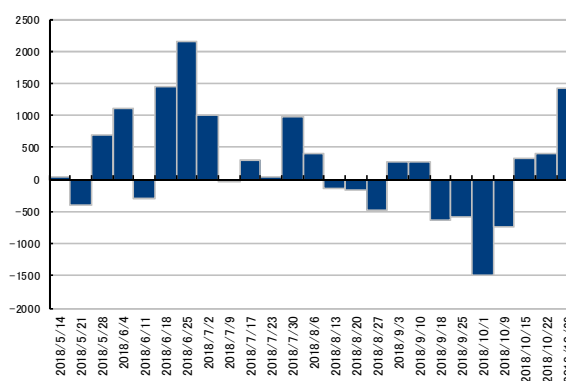
生・損保

単位:億円



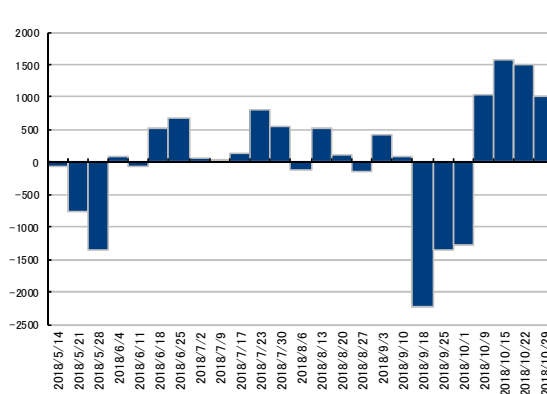
信託銀

単位:億円



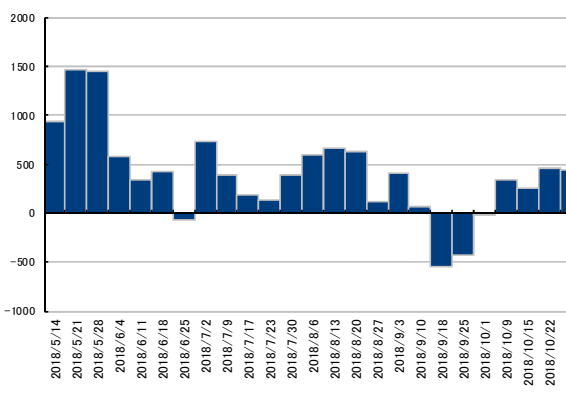
投信

単位:億円



事業法人

単位:億円



単位:億円

現物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	18/07/23	870	▲2,187	860	812	128	▲80	▲49	52
18/07/30	▲1,631	670	▲672	543	386	▲272	▲15	970	
18/08/06	▲900	289	▲347	▲112	586	145	▲332	394	
18/08/13	104	2,255	▲3,450	509	655	75	43	▲146	
18/08/20	541	▲437	▲840	105	631	18	▲45	▲160	
18/08/27	2,882	▲2,363	484	▲153	118	▲247	▲188	▲476	
18/09/03	339	3,697	▲5,280	408	401	▲73	▲63	288	
18/09/10	4,920	▲2,204	▲2,819	93	58	55	▲257	276	
18/09/18	8,913	▲6,699	2,771	▲2,238	▲556	▲124	▲170	▲644	
18/09/25	3,193	▲3,364	3,771	▲1,350	▲433	▲339	▲434	▲582	
18/10/01	▲2,488	210	5,757	▲1,270	▲18	▲227	▲349	▲1,505	
18/10/09	▲3,798	6,023	▲3,290	1,048	333	25	▲84	▲732	
18/10/15	▲3,427	2,757	▲2,120	1,570	250	85	▲70	340	
18/10/22	▲2,591	3,252	▲3,174	1,498	461	47	▲91	413	
18/10/29	▲1,470	▲1,663	262	1,001	446	▲71	▲266	1,426	

単位:億円

TOPIX先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	18/07/23	▲2,052	▲67	1,620	▲130	3	▲182	337	628
18/07/30	2,695	▲13	▲1,821	339	20	7	▲124	▲963	
18/08/06	1,380	127	▲706	▲449	1	90	▲9	▲455	
18/08/13	1,789	81	▲1,479	▲370	▲75	138	▲80	94	
18/08/20	703	▲119	▲577	9	▲0	▲52	14	▲14	
18/08/27	▲1,122	▲1	985	215	▲0	14	▲109	▲80	
18/09/03	3,302	▲38	▲1,807	▲590	▲23	▲44	▲26	▲563	
18/09/10	▲60	153	▲55	▲1,386	2	▲5	156	1,263	
18/09/18	▲5,708	▲92	5,385	361	▲3	10	82	▲363	
18/09/25	▲5,265	▲127	184	1,305	15	▲0	▲667	4,483	
18/10/01	1,470	▲106	1,090	▲503	▲12	▲31	▲641	▲1,213	
18/10/09	5,909	455	▲5,579	▲508	1	▲88	1,431	▲1,667	
18/10/15	5,484	▲251	▲4,259	186	▲1	▲34	▲647	▲504	
18/10/22	5,956	▲67	▲6,079	1	▲0	▲139	422	20	
18/10/29	3,244	182	▲1,776	▲617	2	45	85	▲1,112	

単位:億円

日経平均先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	18/07/23	230	221	▲635	294	7	▲11	139	▲362
18/07/30	18	▲26	▲213	▲69	10	▲10	▲83	197	
18/08/06	589	838	▲349	▲1,728	14	0	▲19	613	
18/08/13	▲470	157	▲1,780	1,816	95	9	▲388	429	
18/08/20	▲1,168	▲863	1,701	▲66	▲49	0	386	133	
18/08/27	▲560	78	3,526	▲2,152	15	▲8	▲148	▲410	
18/09/03	7	468	▲1,771	673	109	2	▲164	155	
18/09/10	▲3,568	▲405	2,640	551	▲84	3	336	437	
18/09/18	▲2,218	34	5,101	▲1,986	2	▲25	▲482	▲356	
18/09/25	1,237	154	▲2,153	▲19	▲30	▲105	344	722	
18/10/01	▲673	223	▲814	▲95	31	▲5	▲48	1,068	
18/10/09	1,244	615	▲6,409	3,971	112	66	▲221	370	
18/10/15	1,324	▲275	▲4,329	2,787	20	0	▲129	591	
18/10/22	▲1,109	582	▲2,571	2,549	▲17	74	229	190	
18/10/29	760	▲530	▲4,252	2,762	▲31	9	▲4	1,336	

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	11/9終値 (円)
アクセスグループ・HD	7042	JQ S	11/6	1,240~1,340	240,000	220,000	1,340	3,500	大和	3,095
事業内容:	販促ツール制作及び発送関連を中心とした広告プロモーション事業、新卒・若年者及び外国人留学生向け採用広報事業、大学・専門・中高の学生・生徒募集及び外国人留学生向け学校広報事業									
霞ヶ関キャピタル	3498	東M	11/28	3,000~3,240	135,000	0	-	-	みずほ	-
事業内容:	太陽光発電施設の開発・販売及び売電事業、不動産コンサルティング事業、ショッピングセンターの運営事業									
アルー	7043	東M	12/11	-	300,000	287,500	-	-	野村	-
事業内容:	人材育成データ・機械学習技術等を活用した、社会人向け教育サービスの提供									
ピアラ	7044	東M	12/11	-	350,000	90,000	-	-	SBI	-
事業内容:	ECマーケティングテック事業及び広告マーケティング事業									
オーウエル	7670	東2	12/13	-	1628000	0	-	-	大和	-
事業内容:	塗料、表面処理剤、塗装関連機器・設備、意匠・保護フィルム等の販売および電気・電子部品等の販売ならびに、それらに付帯する各種工事の請負および設計・監理									
FUJIジャパン	1449	札ア	12/13	-	60000	50000	-	-	藍澤	-
事業内容:	リフォーム事業(外壁材の製造、販売、卸、施工、並びに総合リフォーム事業)									
ツクイスタッフ	7045	JQ S	12/17	-	100000	200000	-	-	SMBC日興	-
事業内容:	介護・医療に特化した人材サービス事業(人材派遣・人材紹介・教育研修等)									

雲上抜け銘柄(東証1部)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1379	ホクト	2070	2029	2023	1950	日本電設	2292	2272.5	2272.5
2212	山崎パン	2270	2232.25	2204	2597	ユニカフェ	1268	1183.25	1258.5
2613	Jオイル	3865	3771.25	3862.5	2651	ローソン	7470	7157.5	7285
2742	ハローズ	2682	2558	2533	2819	エバラ食品工業	2180	2133.5	2122.5
2871	ニチレイ	3095	2931.75	2976.5	3148	クリエイトSD	2968	2943	2935.5
3159	丸善CHI	359	348.25	346	3196	ホットランド	1463	1338.75	1408.5
3222	U. S. M. H	1296	1288.25	1262	3366	一六堂	512	448.25	468.5
3371	ソフトクリエH	1645	1637.5	1640.5	3443	川田TECH	6750	6037.5	6660
3636	三菱総研	3975	3932.5	3865	3696	セレス	2117	1967.75	2035
3762	テクマト	1936	1872.5	1855.5	3763	プロシップ	2585	2536.25	2321.5
3774	IIJ	2543	2227.5	2275.5	3784	ヴェィンクス	1696	1688	1465.5
3902	MDV	1772	1768.75	1640	3939	カナミックN	2111	2067	2000
3941	レンゴー	901	891.25	794	4078	堺化学	2938	2883.75	2642.5
4151	協和キリン	2269	2262.75	2131.5	4307	NRI	5240	5205	4932.5
4324	電通	5440	4885	5150	4536	参天薬	1855	1776.75	1704.5
4552	JCRファーマ	5600	5473.75	4394	4658	日本空調	789	776	738
4661	OLC	10935	10662.75	9254	4662	フォーカス	1077	915.5	965
4746	東計電算	3395	3170.5	2941	4820	EMシステムズ	1240	1210.5	1216
4914	高砂香料	3960	3317.25	3725	5273	三谷セキ	2689	2504	2564.5
5357	ヨータイ	775	744.75	670.5	5727	邦チタニウム	1435	1357	1313
6178	日本郵政	1374	1301.25	1337.5	6364	北越工	1249	1192.75	1119.5
6379	新興プラン	1071	1044.5	1017	6644	大崎電	837	807.5	836.5
6676	メルコ	3925	3866.25	3742.5	6703	OKI	1539	1445.75	1507
6727	ワコム	604	562	514	6750	エレコム	2989	2684	2630
6857	アドバンテス	2458	2452.75	2306.5	6947	図研	1837	1637.75	1695
6985	ユーシン	976	739.25	790	7011	三菱重	4309	4128.5	4267.5
7550	ゼンショーHD	2609	2430	2293.5	7994	オカムラ	1651	1550.75	1377.5
8050	セイコーHD	2852	2805.75	2780	8098	稲畑産	1626	1612.75	1569.5
8125	ワキタ	1269	1204.5	1265	8130	サンゲツ	2190	2181.25	2123.5
8355	静岡銀	1096	1084.75	1082	8585	オリコ	185	169.25	178.5
8818	京阪神ビ	906	902	826.5	8830	住友不	4134	4061	3799
8876	リログループ	2896	2816.75	2735.5	8919	カチタス	3330	2934.75	2367
8935	FJネクスト	931	909.25	918.5	9009	京成	3550	3431.25	3346
9024	西武ホールディ	2179	1934.5	2016	9048	名鉄	2809	2756	2691.5
9075	福山運	4930	4765	4432.5	9081	神奈中交	3825	3751.25	3685
9301	三菱倉	2728	2483.25	2677.5	9468	カドカワ	1343	1215	1277.5
9505	北陸電力	1033	988.25	969.5	9531	東瓦斯	2822	2794.25	2801.5
9602	東宝	3705	3632.5	3702.5	9629	ピーシーイー	2026	1840.5	1831.5
9729	トーカイ	2492	2395	2451.5	9880	イノテック	1502	1357	1137.5
9948	アークス	2778	2771.5	2716.5	9956	パローHD	2821	2819.25	2711

雲下抜け銘柄(東証1部)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
2267	ヤクルト	7960	7990	8395	2335	キューブシステ	833	835.75	909.5
2533	オエノンHD	385	452.5	389	2670	ABCマート	6400	6842.5	6505
2908	フジッコ	2477	2541.5	2535	3079	DVx	1274	1319	1394.5
3088	マツモトキヨシ	4200	4932.5	4420	3097	物語コーポ	9720	11692.5	9755
3179	シュッピン	1194	1361.75	1269	3392	デリカフHD	1490	1533.75	1494.5
3708	特種東海	4240	4310	4345	4008	住友精化	4855	5517.5	5985
4046	大阪ソーダ	2747	2912.5	2837.5	4061	デンカ	3675	3987.5	3707.5
4092	日本化	2683	3651.25	3352.5	4109	ステラケミファ	3340	3354.25	3934
4118	カネカ	4585	5352.5	5052.5	4282	EPS-HD	2161	2275.5	2228
4290	PI	1301	1359.5	1305.5	4619	日特塗料	1897	2153	2029.5
4801	セントラルSP	3820	3937.5	4260	4922	コーセー	17340	20877.5	17700
4975	JCU	2105	2590.5	2518.5	4994	大成ラミック	3050	3153.75	3076.5
5334	日特殊陶	2584	2800.5	2615.5	6005	三浦工	2745	3125.75	2749.5
6077	N・フィールド	1503	1906	1725.5	6287	サトーHD	3045	3263	3105.5
6368	オルガノ	3125	3371.5	3245	6381	アネスト岩田	1112	1152.75	1156
6413	理想科学	2056	2151.25	2146.5	6428	オーイズミ	477	543	556.5
6620	宮越HD	903	1005.5	914.5	6704	岩崎通	776	790	827.5
7220	武蔵精密	1729	1894.5	1764	8005	スクロール	470	490	472
8041	OUG HD	2687	2687.5	2762.5	8074	ユアサ商	3650	3702.5	3807.5
8303	新生銀	1775	1780	1835.5	8346	東邦銀	407	409	407.5
9706	日本空港ビル	4295	4508.75	4472.5	9715	トランスコスモス	2578	2837.5	2807
9719	SCSK	4645	4766.25	4817.5	9934	因幡電産	4730	4925	4757.5

【ご投資にあたって】

本レポート記載の内容に従ってお取引される場合、店舗における国内の金融商品取引所に上場する株式(売買単位未満を除く)の場合は約定代金に対して最大1.134%(税込み)(ただし、約定代金の1.134%に相当する額が2,700円(税込み)に満たない場合は2,700円(税込み))の委託手数料をご負担いただきます。

また、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者の信用状況(財務・経営状況含む)の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じる恐れ(元本欠損リスク)があります。

なお、信用取引などを行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がおお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ(元本超過損リスク)があります。なお、商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- 本資料は株式会社フィスコ(以下「フィスコ社」という)独自の調査・判断に基づくものであり、ひろぎん証券株式会社による投資情報ではありません。そのためひろぎん証券は本資料の正確性、完全性について一切の責任を負うものではなく、また、本資料の情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切の責任を負いません。
- フィスコ社が提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。また、掲載される情報はフィスコ社が信頼できると判断した情報源をもとに作成したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性または適時性について、フィスコ社は保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本文、データなどに関しましては、著作権法などの法律、規制により知的所有権が保護されており、個人の方の本来目的以外での使用や他人への譲渡、販売コピーは認められていません(法律による例外規定は除く)。
- 金融商品(投資信託・外貨預金・公共債等)は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、金融商品をお申込の際は、当該商品等の契約締結前交付書面もしくは投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

私たちはお役に立つ情報提供を常に考え、行動しています。



ひろぎん証券

商号等: ひろぎん証券株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商第20号)

加入協会: 日本証券業協会

本社 〒730-0032 広島市中区立町2-30 電話: 082-245-5000(代)

<http://www.hirogin-sec.co.jp>

本店営業部	〒730-0032	広島市中区立町2-30	TEL: 082-245-5000	可部支店	〒731-0221	広島市安佐北区可部3-20-21	TEL: 082-815-2600
ゆめタウン 広島営業所	〒734-0007	広島市南区皆実町2-8-17 ゆめタウン広島内	TEL: 082-252-8415	五日市支店	〒731-5127	広島市佐伯区五日市7-4-33	TEL: 082-922-0161
コンサルティング営業室 法人営業	〒730-0032	広島市中区立町2-30	TEL: 082-245-5035	東広島支店	〒739-0014	東広島市西条昭和町3-21	TEL: 082-422-3621
福山支店	〒720-0808	福山市昭和町1-1	TEL: 084-922-1321	廿日市支店	〒738-0024	廿日市市新宮1-9-34	TEL: 0829-31-6611
岡山営業所	〒700-0826	岡山市北区磨屋町1-3	TEL: 086-222-1561	岩国支店	〒740-0017	岩国市今津町1-9-26	TEL: 0827-22-3161
府中支店	〒726-0004	府中市府川町335-1	TEL: 0847-45-8500	徳山支店	〒745-0015	周南市平和通2-33	TEL: 0834-31-5350
尾道支店	〒722-0035	尾道市土堂1-11-17	TEL: 0848-23-8121	防府支店	〒747-0801	防府市駅南町4-1	TEL: 0835-22-2871
因島支店	〒722-2323	尾道市因島土生町塩浜1894-10	TEL: 0845-22-2291	宇部支店	〒755-0031	宇部市常盤町1-6-32	TEL: 0836-31-1105
竹原支店	〒725-0026	竹原市中央1-5-3	TEL: 0846-22-2295	萩支店	〒758-0027	萩市吉田町64-2	TEL: 0838-25-2121
三原営業所	〒723-0014	三原市城町1-25-1	TEL: 0848-67-6681	浜田支店	〒697-0024	浜田市黒川町4185	TEL: 0855-22-1515
呉支店	〒737-0045	呉市本通3-5-4	TEL: 0823-21-6401	東京支店	〒103-0026	中央区日本橋兜町21-7	TEL: 03-3668-7551
三次支店	〒728-0012	三次市十日市中2-13-26	TEL: 0824-62-3121	今治営業所	〒794-0022	今治市室屋町1-1-13	TEL: 0898-55-8280

ネットセンター(インターネット取引) <http://www.hirogin-sec.co.jp>

コールセンター(コール取引) フリーアクセス: 0120-506-084

資料作成: 株式会社フィスコ



■本レポートに関するお問合せ■

株式会社フィスコ 営業開発部

電話: 03-5774-2463 E-mail: eigy@fisco.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山5-4-30 CNAC2F